

14.24

1274

14. 24-1274

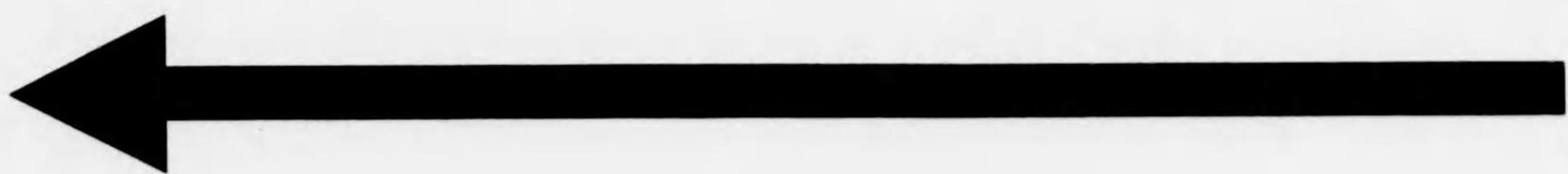


1200501155467

富嶺縣水産試験場業務概要
大正十五年、昭和元年度



始



大正十五年
昭和元年
宮崎縣水產試驗場業務概要

14-21-1273



大正十五年
昭和元年
宮崎縣水產試驗場業務概要

目次

第一漁撈

一、經巾着網漁業試驗 二、鮪延繩漁業試驗 三、近海漁業試驗 四、鰯網漁業試驗
五、鰹片手旋網漁業試驗 六、鰹餌料揚繰網漁業試驗 七、潜水作業ノ講習 八、漁
船員養成 九、指導船建造

第二製

一、鮪煉製製造試驗 二、雲丹製造試驗 三、鰹鹽辛製造試驗 四、鮎粕
五、鮮鮎貯藏試驗 六、宗太鰹利用大和煮罐詰試驗 七、堆翅罐詰及壘詰

第三養殖

一、鯉兒配付 二、鰻兒配付 三、しらす鰻飼育試驗 四、養鰻試驗 五、鮎人工卵
化放流試驗 六、公魚移殖試驗 七、蠶移殖試驗 八、鰻投餌器

第四調查

一、沿岸定置觀測 二、海洋橫斷觀測 三、浮游生物 四、漁況調查



三六

正誤

頁行	誤	正
九三	合同法	合同法
〇三	大謀網	大謀網
一三	十匁入二十錢	二十匁入十錢
二六	二百匁八百匁内外	二百匁小百匁内外
三三	水煮	水煮
三三	融解	融解
三三	午前八時	午前八時
三三	干生籠	シ生籠
三三	干生籠	シ生籠
三三	氣ナリ	氣ナリ
三三	千九百二十疋	千九百二十疋
三三	千九百二十疋	千九百二十疋
三三	195	165
三三	208	205
三三	せらちゆうなむ	せらちゆうむ
三三	ニシテ毎	ニシテ中毎



大正十五年... 官制... 水産... 漁業... 概要

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

大正十五年... 官制... 水産... 漁業... 概要



大正十五年度業務概要

第一漁撈

一、鯉巾着網漁業試験

本試験ハ大正十三年度來ノ繼續事業ニシテ前二年ノ經驗ニ鑑ミ改ムヘキヲ改メ設備スヘキモノヲ設備シ漁夫亦熟練ヲ事ネタレバ本事業ノ成否ヲ本年度ニ於テ決セントス

方法及經過

本場直營ノ下ニ期間ヲ前二ケ年ヨリ一ケ月延長シテ三ケ月トシ四月中旬開始七月中旬終了ノ豫定ニテ着手シ漁船ハ前年通り錨丸及小鷹丸ノ二隻ニシテ漁夫數亦同シ漁具ハ前年度「ネットホーラー」使用ニ依リ大ニ浮子網ヲ伸長シ縮結ノ割合ヲ減シタルヨリ浮子網約三十尋ヲ切斷除去セルモ猶設計當初ニ比シ二十尋長ク浮子方全長五百二十七尋ニシテ縮結ノ割合ハ網糸ノ歛縮ト相俟ツテ二割弱ニ減セリ而シテ沈子網ハ殆ンド伸縮ナキヲ以テ漁具ハ全体トシテ稍扇形ニ變セリト推定セラル

副漁具ハ前年ノ「ウインチ」「ネットホーラー」ヲ使用シタル以外新ニ加ヘタルモノナシ

斯クシテ準備漸ク成リ四月廿八日初メテ出漁シ以後七月廿七日迄全三ケ月間試験ヲ續行セルガ其間ノ漁況及使用網狀況ヲ表記スレバ次ノ如シ

漁況表

項目	月別				備考
	四	五	六	七	
出漁日數	二	四	六	七	()ハ荒天休漁ノ日數ヲ示ス
投網回數	一	五	二	八	
漁獲回數	〇	三	〇	三	
休漁日數	一(一)	一七(一〇)	一三(三)	三八(三)	
漁獲物	ナシ	鯉	ナシ	鯉	
備	三四尾	三四尾	三四尾	三四尾	

使網日誌

月、日	天候	風力	時刻	場所	漁獲物	摘要
四、三〇	晴		一自午前十時半 至午后二時	内海ヨリ東 微北十五湊	ナシ	「ワイヤロープ」ニ「キンク」ヲ生シ網地ニ 纏絡シテ之ヲ破リ失敗ス 餌付不良ノ鯉ヲ釣船ヨリ譲受ケテ包圍ス 魚群大ニ過キ之ヲ中斷シテ投網セルタメ網裾 ニ刺魚ヲ殘シテ逸脱セリ
五、八	晴		二自午前十時半 至午后零時半	内海ヨリ 東十六湊	鯉 二尾	釣船釣獲中ノ魚群ヲ旋ク完全ニ包圍シタルモ 二重潮ニテ網潰レ上記ノ刺魚ヲ殘シテ他ハ袖 先ヨリ逸出セリ
五、九	晴		二自午后一時半 至全五時半	内海ヨリ東 南東二十湊	鯉 三百二十尾	旋網申分ナカリシモ二重潮ニテ網ハ括結ヲ始 ムルト共ニ一ノ塊リ網ノ如ク撚レ揚網大ニ 困難セリ
五、一七	晴		二自午前十一時 至午后六時半	内海ヨリ東 南東廿五湊	鯉 二尾	

漁

日	天候	時刻	場所	漁獲物	備考
五、二四	半晴	二自午前十一時 至全十一時半	内海ヨリ 東十湊	ナシ	適當ノ漁群ニ遭遇シ投網ヲ開始セシモ「ワイ ンチ」ニ故障アリ「ワイヤロープ」ノ走出遅 ク失敗セリ 投網半ニシテ魚群方向ヲ變シ網足ヲ合セ目 ヨリ逸セリ
五、二七	晴	二自午前九時半 至午后一時	内海ヨリ 東微南十湊	ナシ	釣船ヲ中心ニシテ付魚ヲ目的ニテ旋ク漁獲ナシ 釣船ニ訊スニ投網半頃魚ハ離レ去レリトイフ
六、八	晴	二自午前十時半 至正午	内海ヨリ 東十湊	ナシ	釣船ノ招キニ應シ之ヲ中心ニシテ旋包圍ニ先 チ魚沈潜シ離レ去ル
六、一九	半晴	三自午前十時半 至午后十二時半	内海ヨリ 南東十五湊	ナシ	

結論

本年度ノ試験ニ於テ最モ操業ノ支障ト爲リシハ所謂二重潮ナリ一般ニハ潮流緩ニシテ魚ノ浮上状態ハ良好ニ水色ノ透明度モ十三、四尋以内ニシテ魚群ノ包圍ハ比較的容易ニ又刺魚ノ多カリシニ見テ魚ノ沈潜モ深カラス網形サヘ完全ニ保ツテ得バ好漁獲ヲ揚ケ得タル筈ナランモ最モ魚群多カリシ時期ニ於テ急速ナル二重潮アリ五月十七日ノ如キ網全部カ一ノ所ニ寄リ一本ノ網ノ如ク爲リテ捩レ之ヲ引揚クルニ約七時間ヲ要セリ之カ原因ニ就テハ初年度報告ニ於テ記述セル如ク本試験ノ網裾括結法ハ終始新案ノ片縮法ニ依リタルヲ以テ之ニ比較的時間ヲ要シ二重潮等ノ場合ニハ不利ナルヲ免レズ又方法及經過ノ項ニ述ヘタル如ク浮子網ノ伸長シテ包圍セル際ノ膨ミヲ減セルコトカ網形ノ崩潰ヲ招ク助因タルナキカヲ疑フモノナリト雖モ重ナル理由ハ二重潮ノ襲來ニシテ之ニ打勝ツコトハ不可能事ナリト思惟ス
爰ニ前後三年ニ渉ル試験ノ結果ヲ顧ミルニ初年ハ潮流簡單休潮又ハ上潮一色エテ作業極メテ容易ニ揚網ハ凡テ人力ニ依リ且ツ不熱ナリシニ係ハラズ風波ニ妨ケラレ又ハ魚取揚ケニ要セシ時間ヲ除キテハ概ネ二時間半

四
 ニテ終了シ投網回数モ操業期間ニ比シ最モ多カリシモ透明度ノ大ナリシタメ完全ニ包圍セル魚群モ屢々網底ヨリ潜脱シ充分ノ漁獲ヲ揚ケ得サリキ次年ハ前年ノ失敗ニ鑑ミ全体ニ通シ網立チヲ約廿尋深メ得ル構造トシ魚ノ潜脱ヲ防止スル計畫ナリシモ海況全ク前年ト一變シ透明度ハ十四尋内外ニ止マリ網中ニ包圍セル魚ハ常ニ網ノ中腹ニ刺シ敢テ網立チヲ増加スル必要ヲ認メサリシモ漁期中ヲ通シ二節以上ノ北上海流アリ魚ノ浮上緩游ヲ見ス且ツ小群散在シテ投網ノ機會少ク稀ニ投網シテ完全ニ漁獲スルモ數百尾ニ止リ一網打盡ノ特色ヲ發揮シ得サリキ但シ潮流ノ速カナルニ似ス片潮ナリシタメ網形ノ潰レシコトナク作業ハ比較的容易ニ揚網機(ネットホーラー)ヲ使用セシ關係上前年ニ比シ漁夫十名ヲ減セシニ關セズ二時間以内ニテ作業ヲ完了セシコト多シ

今年度ニ至ツテハ前記ノ如ク海況亦全然前二年ト異リ表層ノ北上流ハ稍緩漫ニ透明度モ十三尋内外ニシテ平年ノ程度ナリシモ中層以下ニ逆流アリ網作業ニハ最モ不適當ナル狀態ヲ現出セリ從ツテ作業最モ困難ナリシハ今年ニテ成績亦最モ不良ナリシヲ免レサリキ

仍テ考フルニ本縣沖ニ於ケル本漁業ハ初年即大正十三年度ニ於ケル如ク潮流簡單ニシテ緩漫且ツ魚群ノ密集(殆ンド前例ナキ程ノ濃厚ナル魚群ヲ見釣漁モ平均年額ヨリ六割増ヲ示セリ)セル狀態ニ於テ甫メテ成立シ得ヘキ見込アルモ爾余ノ二ヶ年ノ如キニ在リテハ假リニ幾分ノ漁獲アルモ收支ノ點ニ於テ到底採算無シ勿論初年度ノ如キ海況及漁況ノ現出ニハ漁期ニ先チ黒潮ノ勢力卓越シ清澄高比重ノ海水が近海一帯ニ瀰漫スルヲ前提トシ、從ツテ透明度ノ大ナルニ伴フ漁獲ノ困難ハ必然ナルモ之ニ對シテハ網立チノ増加ヲ以テセントスルモノナリ此對策ハ海況ノ異ナルタメ爾余ノ二年間遂ニ適否ヲ試ムル機會ヲ得サリシハ千秋ノ恨事ナルモ疑問ト共ニ一縷ノ光明ハ爰ニ殘サル

次ニ如斯好適ノ海況ガ何年毎ニ回歸シ來ルヘキカノ問題ナルカコハ不幸ニシテ三年ノ短期試驗ニテ解決シ得ヘキモノナラズ結局乍遺憾技術的ニハ透明度ト網立チトノ關係如何ノ問題ヲ殘シ經濟的ニハ海況ノ回歸ノ週

期如何ノ問題ヲ殘シテ本試驗ヲ終了セサルヲ得サルモノナリ

二、鮪延繩漁業試驗

一、趣旨

本試驗ハ多年繼續ノ指導本位ノ事業ニシテ今年度ハ從來黃肌、目鉢鮪ヲ目的トセル本縣一般ノ漁具ニテ近時回游多キ眞黒鮪ニ對シテハ稍纖弱ナル嫌アルヲ以テ此點ニ研究ヲ進ムルト共ニ他面さんぼ鮪專問ノ漁具ヲ用ヒ之カ漁場探檢ヲ試ミントス

二、經過並ニ成績

試驗船鵬丸ニ監督技手一名船員十二名ヲ乗組マシメ縣内内海港ヲ根據トシ十一月中旬初出漁ヲ爲シタルガ船体老朽ニシテ活動自由ナラス且途中船長ノ交迭アリ一頓挫セシモ爾來三月末マデノ期間ニ於テ左記漁況表ノ如ク出漁ヲ試ミタリ

漁場ハ東徑百三十一度十分ヨリ全百三十三度北緯三十度ヨリ全卅一度五十分ニ至ル區域ニシテ就中東徑百三十二度北緯三十一度十分附近ヲ多シトス。

漁具構造ハ大正十三年度報告ノ構造中さんぼ繩ハ幹繩ヲ六匁付棉糸ヲ混シ又大鮪繩ハ幹繩ニハ南京麻糸徑二分五厘ヲ用ヒ技糸ニハ「マニラローブ」コールタ染メ十二匁付ノモノヲ使用シせきやまハ五尋三十匁上リノモノニ舶來「サウンディングワイヤ」七本線ヲ採用セルヲ異レリトス

月別	出漁日數	投繩回數	漁獲回數	休漁日數	種	類	數	量	價	物	格
二	一四	五	五	八(七)	鮪	きはだ、めばち、ふか	一八〇、	五五〇	二四、	三三〇	
三	一七	四	四	一四(九)	鮪	めばち、さんぼ、かじき、ふか	二五、	二〇〇	九、	五九〇	

計	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
壹	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
二	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
三	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
四	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
六	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
八	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
九	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
十	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
計	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

備考 休漁日數中ノ括弧内ハ荒天休漁ヲ示ス

前記漁獲物ハきはだ、めばちヲ主トシ他ハ稀ニ混獲セルモノナリ投縄回数ニ比シ漁獲率甚低ク眞黒鮪ノ漁獲殊ニ少シ之漁場ヲ廣ク各方面ニ撰定セル關係ニ依ランモ縣下一般ニモ當年ハ稀ニ見ル不漁年ニシテ僅ニ一月中下旬ニ涉リ黒鮪ノ好漁アリシノミニテ他ハ殆ンド不漁ヲ以テ終始セリ

從ツテ各種ノ漁具ヲ使用セシモ魚群ニ遭遇スルコト尠ク其ノ適否ヲ決定スルコトスラ困難ナリシハ遺憾ナリキ又之ヲ海況ヨリ見ルニ十一月中ハ水温二十三度半以上ニシテ未ダ高キニ過キ加フルニ黒潮ノ流速緩漫ニシテ魚ノ食慾ヲ昂メズ不結果ヲ見タルモノトイフベク十二月ニ入りテハ水温廿二度内外ニ下リ漁期ニ入レル筈ナルモ黒潮主流沖合ニ去リ僅ニ其分派ノ接近ヲ見タルノミナルヲ以テ上中旬ニ於テ稍好漁ヲ示セルニ過キス一月ニ於テハ水温廿一度ニ下リ黒潮卓越シテ前記ノ通り活潑ナル漁況ヲ現セルモノナリ二月ハ黒潮遠ク沖合ニ去リ水温又頓ニ低下シ過冷トナリ距岸百哩附近ニテ漸ク二十度ヲ示シ漁況最モ不振ナリ三月ニ及ンデハ依然前月來ノ海況ヲ持續シ本漁期ヲ終レリ概觀シテ非常ナル不適ノ海況ニ在リシハ明ナルモ一月下旬ノ不漁ハ主トシテ荒天ノ累ヲ爲セシタメナラン

三、近海漁業試験

趣旨

近海漁業ノ開發指導ニ任スル目的ニシテ本年ハ主トシテ鯖ノ游回時期推定ノ目的ヲ以テ計畫ヲ進メタリ

鯖漁業試験

流網漁業ハ已ニ民間事業トナリ試験ノ必要ヲ認メサルモ延繩漁業ハ昨年度ノ試験ニ於テ未ダ所期ノ目的ヲ達セズ問題ヲ殘セルヲ以テ試験施行ノ豫定ナリシモ其後縣内當業者ノ實例及縣外各地ノ事實ニ徴シ延繩漁業ノ到底見込ナキ結論ニ達シ爰ニ遺憾ナカラ本事業ハ中止セリ

鯖延繩漁業試験

本縣ニ於ケル鯖漁業ハ秋冬ノ候近海ノ魚礁ニ於テ夜焚一本釣ニテ鱈ト共ニ六七十旬ノ小鯖ノ漁獲セラル、ハ毎年ノ例ナルモ稀ニ全時ニ二三旬廻リノモノ釣獲セラル、事アリ又春季四月前後ニ距岸十哩以内ノ沿海ニテ三百旬大ノ鯖群ヲ見ルコトアリ右ノ内小鯖ハ一本釣漁業ニ依ルテ適當ト認ムルモ大鯖ハ漁場必ラスシモ魚礁ニ限ラレス平海ニモ出沒スルヨリ見テ寧ろ延繩ニ依ルテ可ナリト信セラル仍テ本年度ヨリ之カ試験ニ着手セルガ漁期不明ニ屬スルヲ以テ年度中隨時投縄ヲ試ミ先ツ最適ノ漁期ヲ決定シ且ツ魚群ノ多少ヲ檢セントセリ

漁具ハ幹繩ニ「ラミー」廿四本合セ三撚糸ヲ用ヒ一鉢ノ長サ二百尋枝間三尋長サ一尋ノ「ラミー」細糸ノ枝糸ヲ付シ土佐型ノ釣ヲ結ブ十五尋毎ニ浮標繩ヲ配シ其長サハ漁場ニ依リ淺深アリ十五尋乃至二十尋トス、石ハ繩ノ兩端ニノミ下ケ凡テ浮標繩ノ構造トス總數十二鉢ヲ用意シ試験船小鷹丸ニ漁夫油差五名ヲ乗組マシメ九月中旬初メテ宮崎郡沖合大塚ノ瀬ニ鹽漬キびなごヲ餌料トシテ二回投縄セリ次デ十月中旬全所ニ試験セシモ共ニ河豚群多クシテ或ハ漁具ヲ切斷シ或ハ餌料ヲ奪ヒ去リ目的ヲ達シ難カリシヲ以テ冬期ニ入り河豚ノ去ルテ待ツテ試験スルコト、シ秋鯖漁ハ中止セリ

昭和二年三月ニ入り前記大塚ノ瀬、宮崎郡沖合長尾瀬南那珂郡沖合池山ノ瀬宮崎郡沖合うみやんノ瀬等ニ前後六回ノ出漁ヲ試ミタリ餌料ハきびなごヲ缺キシヲ以テ背黒鰻又ハ小鯖ノ三寸大ノ活魚ヲ使用シタルカ三月

廿一日池山ノ瀬ニテ浮標繩ノ長サ二十尋ノトキ漸ク百五十旬(体長一尺)ノ鯖一尾ヲ得タリ
之ニ先チ大正十五年十月末一筋繩漁船カ餌料自給ノ目的ヲ以テ大塚ノ瀬ニテ夜焚一本釣ヲ爲シ全大ノ鯖三百
餘尾ヲ得タル實例アリ之ニ仍テ秋冬ノ候ニ於テ中鯖ノ本縣沖ニ回游シ來ルハ明白トナレルモ數量ノ多寡ハ未
ダ確言スル時期ニアラス更ニ次年度以後ノ試験ニ俟タントス

四、編網漁業試験

以前ヨリノ繼續事業ニシテ今年度ハ南那珂郡市木村漁業組合ト協同シ全地先ヲ漁場トシ試験ノ豫定ナリシ
所交渉ニ時日ヲ費シ漁期ヲ失スル惧アリタルヨリ依然前年ノ共同者タル南那珂郡大堂津大内久松、阪元寅市
ニ右市木村地元漁場マデ出漁スルヲ條件トシテ試験ヲ托シ施行セリ

秋蠟ノ盛期十月前後ニ於テ荒天ノタメ沿海一帶濁水瀾漫セルタメカ蠟回游少ク且ツ波浪ノタメ市木出漁ヲ敢
行シ得サリシハ遺憾ナリキ

五、鱒片手旋漁業試験

前年通り東臼杵郡富高町日高要蔵ト共同シ施行セリ

六、鯉餌料揚繰網漁業試験

大正十二年度來ノ繼續事業ニシテ鯉餌料漁業振興ノ目的ハ已ニ達シ民間企業者ヲ見タルモ更ニ漁具ノ命脈
ノ存スル限リ之ヲ民間ニ貸與シ本事業ノ普及ト餌料難ノ緩和ヲ策セントスルモノナリ

南那珂郡福島村大字西方河野與太郎ニ揚繰網一統及附屬具一切篝火器二個ヲ貸與シ和船二艘旋ノ漁法ニ依
方法及成績

撈 漁

リ四月初旬ヨリ着手セリ

當初ハ日々餌料魚五、六籠宛ノ漁獲アリ之ヲ蓄養シテ鯉漁船ノ來ルヲ待チシモ當時鯉ノ回游ナク多クハ食料
トシテ安價ニ販賣セリ次デ鯉ノ漁期ニ入り餌料ノ需要増スニ至ルヤ網地古損ノタメ破損多ク操業意ノ如クナ
ラス偶一部網地ノ入替ヘテ行ヘル際誤テ網地ヲ石油ニテ稀薄セル「コールター」ニテ染メタルタメ漁獲魚ノ
全部斃死セル等ノ失敗アリシモ六月中旬迄繼續シ相當ノ漁獲ヲ揚ケ鯉盛期中能ク餌料供給ノ目的ヲ達セリ

七、潜水作業ノ講習

定置漁業ノ改良ニ潜水機ヲ利用スルヲ目的トシテ計畫セルモノニシテ今年度ニ於テハ單ニ潜水機購入ノ豫定
ナリシモ機械購入豫算ニ殘餘ヲ生シ之カ利用策トシテ豫備的ニ極メテ短期ノ講習ヲ施行セリ潜水機ハ東京深
川區日本潜水株式會社製作ノ「マスク」式潜水機ニシテ從來ノ兜式潜水機ニ比シ輕量ナルト着脱容易ニ且ツ
網類網具ノ裡ニ潛入スルモ纏絡スル憂ナキ特徴アリ最モ漁業用ニ適スルモノナリ講師ニハ農林省水産講習所
教官三浦定之助氏ヲ聘シ別ニ助手(持綱)トシテ潜水夫吉田万吉ヲ雇備シ九月一日ヨリ全七日迄南那珂郡油
津町ニ於テ開講シ日南水産會社其他附近ノ大敷網漁夫六名及本場員一名ヲ加ヘ毎日午前中一時間及雨天ニテ
實習困難ノ際ヲ利用シテ潜水機ノ構造及使用法潜水者ノ攝生法潜水中ノ合同法及潜水病ノ原因及療法ニ就キ
講義シ其他ノ時間ハ潜水機ノ分解及組立、潜水作業ノ實習ヲ課シ講習生中二名ハ十一尋ノ深サニ達シ他ハ五
尋内外ニ達セリ

本年ハ日數ノ少ナキニ係ハラズ講習生ハ本漁期ノ蠟大敷網ニ役立タントノ希望ニ燃エ各自潛深度ノ増加ヲ急
キシタメ耳鼻ニ出血ヲ見タルモノ三名ヲ生シタルモ次年度以降ノ講習上ニハ好經驗ヲ得タリ

八、漁船々員ノ養成

從來ヨリノ繼續事業ニシテ練習生規程ニ依リ試験船内ニ收容シ漁船々員トシテノ技術ヲ二ケ年以内ニ練習セ

シムルモノトシ本年度練習生在籍育六名修了者三名内二名ハ海技免狀ヲ得タリ

九、指導船建造

現在ノ試験船丸ハ船齡已二十年ニ達シ且ツ二十七噸ノ小船ナルヲ以テ到底其ノ本務ニ堪ヘ難シ仍テ前記
經巾着網漁業試験ノ一段落ト共ニ大型指導船ノ建造ヲ企圖セルモノナルガ當初ハ六十噸百馬力ノ木造船ノ計
畫ナリシモ主務省ノ鋼製漁船獎勵ノ方針ニ準據シ多額ノ國庫補助ヲ受ケ七十噸百三十馬力ノ鋼船ニ變更シ昭
和二年一月十五日長崎市三菱造船株式會社社長崎造船所ニテ起工全年三月五日進水シ東京市株式會社新潟鐵工
所製作百三十馬力ディーゼル機關ヲ据付タルガ工事次年度ニ跨リタルヲ以テ爰ニハ單ニ經過ヲ記載スルニ止メ
他ノ一般事項ハ次年度報告ニ讓ル

製

第二製 造

一、燻製々造試験

造

(イ) 原料

三月十日東臼杵郡伊形村赤水日高大煤網漁場ニ於テ漁獲セルモノヲ氷結トシ宮崎郡折生迫本場附屬製造所ニ
送付十一日午後二時半到着

(ロ) 製法

鯉ノ土佐切ニ準シ調理シ調理重量ニ對シ砂糖百分ノ五硝石百分ノ一ヲ以テ漬込ミ翌日撒鹽漬ヲ行ヒ數日ノ後
更ニ過飽和鹽水ヲ注入シ肉緊リ充分ナルヲ認メタ後鹽抜ヲナシ陰乾一夜ニシテ燻乾ヲ始メ燻乾貳百拾時間ヲ
以テ完製セリ

製

本年度ハ鹽抜後調味液浸漬ヲ廢シ品質ニ及ホス影響如何ノ試験ヲ併セテ行ヒタルニ体肥膩ノモノニハ其ノ必
要ヲ認メザルモ稍脂肪衰ヘ時期遅レノ原料ニハ其ノ必要ヲ認メタリ
燻温ハ二十三度内外ニ調節シ最後ノ二十時間ニ稍高温ヲ與ヘ完了セルモノハアルコールヲ以テ拭ヒ硫酸紙ニ
テ包ミ一部ヲ縣廳構内同安社ニテ百匁六十錢替ヲ以テ試賣ス

(ハ) 貯藏試験

四月二十七日燻了セルモノヲ更ニ五月二十九日燻温三十度ヲ以テ二時間燻乾シ冷却セサル内左記方法ヲ行ヘ
リ

A、アルコールニテ拭ヒ砂糖ニ埋没セルモノ

B、全 食鹽ニ埋没セルモノ

C、崩帶ニテ堅ク巻キオリーブヲ注加セルモノ

D、パラピン紙ヲ以テ包ミ崩帶ヲ巻キ上面ニラードヲ摺リ込ミタルモノ

E、オリーブニテ拭ヒパラピン紙ニテ包ミ崩帶ヲ巻キ製氷會社ノ冷所攝氏十度内外ノ場所ニ放置セルモノ

F、燻乾二時間ノ際燻材ニ胡椒ヲ混シ燻乾シ尙ホ燻了ノモノニ胡椒ノ浸出液ヲ塗付シ崩帶ニテ巻キタルモノ
前記ヲ六月二十七日檢セルニ左記結果ヲ得タリ

A、砂糖カ製品ノ油ヲ吸收シ肉質硬化セルモ發微ヲ認メス

B、鹽ハ稍潮解ノ氣アリ製品ノ油ヲ吸收シ硬化セルモ發微ヲ認メス味ハ馴レタル感アリ光澤稍落テリ

C、外部一面ニ黄青色ノ微ヲ生シ切口ニ光輝アリテBニ優リ肉軟ク味亦前者ト大差ナシ

D、Cト全シキモ發微稍少シ

E、肉肌ニ小許ノ油ノ凝固セルヲ認メタレトモ他ハ變化ナク良好ヲ得タリ

F、外部肉肌及皮膚ノ凹部ニ發微ヲ認ム肉ハ堅ク味Dニ全シ食後胡椒味ヲ感ス

原料 參拾貳尾 一尾平均二貫四四〇匁

重量 七八貫

頭骨 六貫一三〇匁

臟腑 二七貫一七〇匁

精肉 四四貫七〇〇匁

製品 二四貫四二〇匁

製造工程進捗ニ伴フ重量減少歩合
 原料ニ對スル製品歩留 三、一
 精肉ニ對スル製品歩留 五、四
 原料ニ對スル精肉ノ歩留 五、七

(ニ) 鱈燻製生産費

品目	數量	單價	價格	備	考
原料	三二尾	三、〇〇〇	九六、〇〇〇		
食鹽	九三斤	〇、四〇〇	三、九六〇		
砂糖	三七斤	二、五〇〇	九、二五〇		
硝石	四ポンド	四、〇〇〇	一、三五〇		
アルコール	一ポンド	九〇〇	九〇〇		
燻材	二ケ	〇、一〇〇	二〇〇	無價	

製造

百匁ニ付五拾錢當リ

二、雲丹製造試驗

本年度ハ時期遅ノ原料利用法トシテ水切方法ノ研究ヲ兼テ長期貯藏用鹹口製品ノ試製ヲ左記ノ通り施行セリ
 (イ) 燒 雲 丹
 六月十日原料七百匁ヲ購入シ一尺四方高二寸ノ枠ニ五分目ノ金網ヲ張りタル箱ニ百匁ヲ入レ母氏七度ノ鹽水ニテ煮熟シ夾雜汚物ヲ去リ一夜間陰干ノ後焙乾シ終レリ
 製品百六十七匁得歩留リ二割三分八厘ナリ依ツテ製品百匁ハ一圓三十一錢ニ當リ普通製品トノ價格ノ懸隔甚タシク、商品トシテ取引至難ナルヘシ

(ロ) 鹽 辛

水切法研究ヲ目的トシ大正十三年度ニ製作セル雲丹枠ノ一部ヲ改造シ通風ノ宜敷ヲ計リ前年度ニ於テ一段二百五十匁ヲ以ツテセルヲ本年度ハ百五十匁ニ減シ食卓鹽一合ヲ施鹽セリ手返ハ二日目ニ行ヒ其際追鹽二匁ヲ加ヘ四日ヲ經桶ニ取り入レタリ、本試驗ハ水切ヲナスト共ニ風乾ヲ併行セシニ製品ハ相當ノ硬化ヲ得タリ
 長期貯藏品ハ六月八日ヨリ十一日ニ至ル四日間ニ亘リ青島村巾着島附近沿岸ニ於テ採收セルモノニシテ七貫四百四拾壹匁ノ原料ヲ使用シ食鹽ハ三合ノ割ヲ以テシ四貫八百匁ヲ得(六、四六割)タルモノヲ供セリ貯藏中ハ九月二日大阪市某氏ヨリノ注文アリ六壘(三十匁入)送付セルニ非常ニ好評ヲ得隨時買却シ十一月十六

日百七十五匁ヲ買却セルニ稍品質低落ノ感アリ本縣雲丹ハ水切困難ニシテ從テ長期ノ貯藏困難ナルモ本試驗ノ結果ニ鑑ミ一層良ク之ガ研究セハ相當長期貯藏ハ可能ナルベシト推セラレ

三、鹽塩辛製造試驗

本縣ハ經節ノ製造妙カラサレトモ鹽辛ノ製造ハ未ダ幼稚ニシテ本縣内ニテ販賣サレル製品ハ他縣ヨリノ移入ヲ見ル現狀ナリ依テ之カ防止策トシ改良精選セバ日向經節ト相俟ツテ一名産品タラシメ得ベク本年度ヨリ開始セルモノナリ

(イ)原料及製造方法

南那珂郡南郷村沖合ニテ漁獲セル一尾平均重量一貫匁内外ノモノニシテ漁獲時ヨリ十時間内外經過シ相當新鮮ナルモノヲ供セリ

經ノ胃及腸ノミヲ取り之ヲ縦割シ洗滌ノ後小許ノ肝臟ヲ入レ原料一斗ニ對シ三升ノ食鹽ヲ加ヘタルモノヲ本場附屬折生迫製造所ニ送付シ一週間ヲ經テ檢セルニ當座用トシテハ申分ナキモ尙長期保存ノ目的ヲ以ツテ原料一斗ニ對シ六合ノ燒鹽ヲ加ヘ鹹味ヲ増加セシメタリ

攪拌ハ當初二週間ハ毎日之ヲ行ヒ以後ハ一回宛ニ止メテ醗酵ヲ助成セリ製造後三週間ヲ經テ檢セルニ樽ノ上下共色澤及味共良好トナリ依ツテ本縣物産陳列場ニ於テ八月一日ヨリ開催サルヘキ土産品展覽會ニ於テ二、三分ニ細斷セルモノヲ壘詰トシ試賣ノ目的ヲ以テ出陳セルニ好評裡ニ賣盡セリ

賣價ハ百匁壘詰四十錢匁壘詰三十錢トシ別ニ普及ノ目的ヲ以テ三十匁壘詰十五錢十匁入二十錢ヲ以テ試賣セリ

(ロ)製造進捗ニ依ル製品減少割合

原料 二二貫三〇六匁 三斗八升

製品 一七貫〇四三匁 二斗三升

製造

原料ニ對スル製品ノ割合 七割六四

原料一斗ハ五貫八七〇匁製品一斗七貫四一〇匁トス

經鹽辛製産費

品目	數量	單價	價格	備考
原料	三斗八升一斗	五,000	一九,000	
食鹽	三〇斤十斤	二〇〇	六,900	
人夫賃	女十二人	七〇〇	八,400	
荷作費	男四人	一,000	四,000	
計	一人	一,400	五,600	
			三七,690	

製造

百匁當リ製産費二十二錢一厘

四、鮎粕漬製造試驗

繼續事業ニシテ前年度同様ノ主旨ニ基キ生産費ノ節減ニ留意シテ試驗ヲ開始セリ

(イ)原料及製造方法

原料ハ十月中旬ヨリ十一月中旬ノ間ニ北川村日向長井附近ニ於テ地曳網及刺網ヲ以テ漁獲シタル十七匁平均ノモノ三百四十二尾六貫百匁ヲ以テセリ

製造方法ハ前年全様ニ付省畧スルコト、シ製造進捗日時ヲ示セハ左述ノ如シ

原料購入 十月中旬至十一月中旬

折生迫製造所着 十二月三日

鹽拔 十二月四日
 陰乾 十二月四日
 假漬 十二月五日至十二月十七日
 假漬中十二月十二日手返ヲナス
 箱詰 十二月十八日至十二月二十日
 (ロ)箱ノ寸法

種目	長	巾	高	單價
小判漬用	八寸五分	六寸	九寸五分	一ケ十一錢
普通品用	八寸五分	六寸	八寸五分	一ケ十一錢

橡ハ仕上正四分トシ蓋底ハ正二分以上トス
 (ハ)箱詰ノ内容及出來上リ數

種目	結數	箱重量	箱重量	結重量	計	出來高
小判漬(大)	五尾	一二五匁	二七五匁	一三〇匁	五三〇匁	七箱
ク(中)	五尾	一〇〇匁	二二〇匁	一〇〇匁	四二〇匁	一〇箱
普通品	五尾	一〇〇匁	二八〇匁	七〇匁	四五〇匁	四九箱

造 製

品目	數量	單價	價	額	備	考
鮎粕	六貫二二〇匁	一貫	六,〇〇〇	三,三〇〇	鹽鮎トシテ計上セリ	
酒粕	二〇貫〇〇〇匁	十貫	六,五〇〇	三,〇〇〇		
卵淋	六〇〇匁	一貫	一〇,〇〇〇	六,〇〇〇		
味油	三升五合	一升	一,六〇〇	五,六〇〇		
醬油	二合	〃	五〇〇	一〇〇		
燒酎	一合	〃	一,五〇〇	二〇〇		
寒紗	二反	一反	三,五〇〇	七,一〇〇		
箱紙	六六ヶ	一ヶ	一〇〇	七,一〇〇		
紺紙	一二〇枚	一枚	一〇〇	一,二〇〇		
紺紙	三〇枚	一枚	一〇〇	三,〇〇〇		
封紙	七〇枚	一枚	五,〇〇〇	三,五〇〇		
新緘	一五〇枚	百枚	〇八〇	一二〇		
人夫賃	五〇〇匁	一貫	五〇〇	一,一〇〇	運搬用	

(ニ)生産費
 一金九拾八圓八拾貳錢也
 鮎粕漬六拾六箱 一箱一圓四十九錢七厘
 内譯

製

造

釘	100	100
糊	100	100
運	7,500	1,000
雜	1,000	9,850
計	1,000	

各種目ニ依リ經費ヲ示シ參考トス

内容重量鮎

七〇匁 四九箱 三貫四三〇匁
 一〇〇匁 一〇箱 一貫〇〇〇匁
 一三〇匁 七箱 九一〇匁

計

六貫二二〇

百匁當リ

三七圓三二錢
 六九錢八厘

内容重量酒粕

二八〇匁 四九箱 一三貫七二〇匁
 二二〇匁 一〇箱 二貫二〇〇匁
 二七五匁 七箱 一貫九二五匁

計

三升

一七貫八四五匁
 四圓 八〇錢

製

造

小判漬用卵

六貫

味淋 四合

焼酎 一合

雜費

計

其ノ他ノ共通費

箱

ハラピン紙 一二〇枚

レツテル 七〇枚

紺紙 三〇枚

封緘紙 一五〇枚

運賃

新聞紙 五〇〇匁

鹽 五升

酒粕 二〇貫

計

百匁當リ

六圓〇〇〇

六四〇

一二五

一、〇〇〇

薪炭、砂糖、醬油其ノ他

計

七、七六五

四五六

七圓一〇〇

七、二六〇

一、二〇〇

三、三五〇

六〇〇

一、二〇〇

七、五〇〇

一、二五〇

人夫賃 一、〇〇〇
 釘 一、〇〇〇
 糊粉 一〇〇匁
 計 三五、六八〇
 一箱當リ、五三八

以上ニ付各種目算定價額左ノ如シ

種目	結價額	酒粕代	卵價額	其ノ他共通費
小判漬大	九四	二七五	四六	二、二四三
全中	六九	三〇〇	四六	一、九二二
普通品	四八	二八〇	四六	一、二九二

製造

賣價
 小判漬大 一箱 參圓五拾錢
 全中 一箱 貳圓貳拾五錢
 普通品 一箱 壹圓七拾五錢

(ホ)成績

本年度ノ原料ハ時期稍遅レ既ニ瀬付セル頃ナルガ爲ニ魚体一体ニ疲衰シ脊骨著シク硬ク特ニ脂肪少ナルノ感アリ爲ニ製品ノ味モ亦宜シカラズト推セラレタルヲ以テ調味ニ留意セル結果相當ノ味ヲ保チ年末贈答品及土産品トシテ縣廳内同安社ニテ販賣セルニ好評ヲ博セリ

生産費ハ一圓四十九錢強ナレバ之カ製造ハ相當ノ利益アルモノト認ム

五、鮮鮎貯藏試験

試験ノ目的

凍結シタル鮎ヲ貯藏シ置キ隨時需要者ニ供給スル方法ヲ研究スヘク本試験ヲ行ヘリ

(イ)試験ノ方法

十一月二十四日東臼杵郡五ヶ瀬川上流築ニ依リ漁獲セルモノヲ攝氏八度ノ氷水中ニ入レ洗滌シツ、豫備冷却ヲ行ヒバラビン紙ニテ包ミ冷凍セリ冷凍方法ハ碎氷一貫匁ニ食鹽三百匁ヲ混シ凍結完全ナルニ要スル時間一時間十五分ヲ要セリ最低溫度攝氏零下三十度ヲ示セリ
 豫メ製作セル長サ一尺一寸幅八寸五分高八寸五分ノ枠ヲ作り之ニ格子戸ノ如ク三寸置天地兩側共ニ一寸巾ノ板ヲ附シタルモノ中ニ凍結鮎ヲ入レ別ニ一尺八寸四方ノ輸送箱内ニ其ノ儘入レ間隙ニハ豫備冷却盤ニ凍結ノ際ノ使用セル残水ヲ鉋屑ト共ニ充填シ客車便ニ依リ宮崎市大淀日向製氷會社ニ送付シブライインタンク中ニ收容セリ

(ロ)試験ノ日時

漁獲十一月二十四日午前十時
 豫備冷却 午前十一時十五分至十二時半
 冷凍 午後十二時半至一時四十五分
 輸送 午後四時一分延岡驛發
 午後六時四十四分大淀驛着
 午後七時十五分日向製氷會社着
 午後八時完了ス

製造

所要時間 十時間

(ハ)成績

大淀驛到着ト全時ニ檢セルニ何等異狀ヲ認メス
 十二月一日午前九時取り出し自然ニ融解セシメ十二時食セルニ何等ノ變化ナキモ稍香氣ヲ欠キ冷凍特有ノ眼
 球白色ヲ呈セリ
 十二月十二日檢セルニ尾鰭ノ先端三分餘凍結ヲ欠ギ肉稍鹹キモ内臓ニハ何等ノ食鹽浸漬ヲ認メス
 一月七日味及香氣ハ十二月一日ト全様ナレトモ脂肪稍減退セルノ感アリ
 一月十八日食鹽ノ浸漬ヲ見タリシモ内臓ニハ之ヲ認メス
 二月十六日香味薄シトモ鮎本來ノ味ハ保チ内臓ニ稍油燒ヲ生ゼリ
 四月八日完全ニ冷凍ヲ繼續セルモ内臓ノ一部ニ滋味ヲ來シ肉組織細胞ヲ破綻シ鮮度ヲ失セガ如シ
 五月十一日鹹味強ク食鹽ヲ附セスシテ食用ニ供セラル、未ダ食用ニハ差支ナシ

六、宗太鯉利用大和煮罐詰試驗

八、九月ノ候引繩及竿釣ニ依リ大ハ二百匁ハ百匁内外ノ宗太鯉ノ漁多ク價額ハ一貫七拾錢ヨリ四拾錢内外ニ
 シテ其ノ多クハ鮮魚ノ儘市場ニ送り大漁ニ際シテ稀ニ生節ニ製シ販賣スルモノアレ共他ニ加工スルモノナシ
 然レトモ原料價格廉價ナルヲ以テ之カ大和煮罐詰トシ利用ノ道ヲ講スレバ相當ノ効果ヲ齎スヘシト認メ豫備
 研究トシテ本試驗ヲ行ヘリ

(イ)試驗ノ日時及歩留

九月十五日午后四時
 原料 一三貫七二〇匁 一尾平均一〇〇匁

製

造

製

造

品目	數量	單價	價額	備考
尾數	一三七尾			
頭骨	二貫三二〇匁			
臟腑	一貫八六〇匁			
精肉	九貫五四〇匁			脊骨ヲ含ム
煮熟後精肉	六貫一〇〇匁			
歩留	四、四割			
(ロ)生産費				
一金貳拾六圓拾七錢也				一罐當リ貳拾六錢四厘四毛
原料		〇八四	10,600	砂糖ニテ調味セルモノ
調味液	一二七尾	三六〇	二,200	
薪	二八貫	五〇〇	1,400	
人夫賃	男四人 女二人	七〇〇 一,〇〇〇	二,800 二,000	
空罐費	九九罐	〇六〇	五,940	
雜費			七〇	封蠟雜費
計			26,170	

本製産費ニ於テ人夫賃比較的多額ナルハ夕刻購入セルト時恰モ豪雨ナルトニ依ル平時晝間ナレバ優ニ倍數ノ

能力ヲ示スモノト推セラルル薪ニ於テ示セル金額ニテ八〇〇罐ヲ加熱スルヲ得ルモノナレバ本試験ニ於テハ全ク豫備的知識ヲ得タニ過ギズ

(ハ) 製造方法

水煮トシ味付セルモノト蒸煮トシテ味付セルモノトノ二法ヲ試ミタリ前者ハ頭ヲ去リ水一斗ニ食鹽五合ノ鹽水中ニ一時間浸漬シ罐高ノ三分ノ一ニ切斷シ水煮シ脊骨ヲ去リ後者ハ頭ヲ去リ蒸煮シテ二枚ニ割リ脊骨ヲ除シテ罐高ノ三分ノ一ニ切斷シタルモノニ法ヲ醬油一升ニ白砂糖百三十匁水五合ノ割合ノ調味液ニテ五分間煮熟シ一夜間放置シテ六十匁詰トセリ
肉詰ニ際シテハ皮肌ヲ罐ニ附着セシメル時ハ表皮著シク損シ内容悪化スルニヨリ之カ防止トシテ肉肌ヲ外部トナセリ

肉詰終レハ醬油一升白砂糖百三十匁水一升七合ノ調味液五匁ヲ加ヘテ卷締トセリ

瓦斯拔 沸騰點 三十分

殺菌加熱 沸騰點 一時間三十分

(ニ) 品評

(一) 水煮セルモノ

肉ハ(二)ニ比シ稍軟キ感アリ

液ハ(二)ニ比シ稍清澄ナリ

(二) 蒸煮トセルモノ

肉少シク(一)ニ比シ硬シ

味ニ付テハ兩者共差違ナシ

製

造

備考

今回ノ試験ニヨレバ生産費一罐當リ貳拾六錢四厘四、一箱十二圓六十七錢トナレリ此レ人夫賃並ニ燃料ノ多額ヲ要シタルニヨルモ同種他罐詰ト對照シ一箱六、七圓ニ販賣シ得ル程度ニアラサレバ取引至難ナルベク後日生産費節減ノ方法ニツキ更ニ試験セントス

七、堆翅罐詰及壘詰

緒言

大正十三年度ニ於テ用途指定國庫補助ヲ受ケ開始セルモ製造中幾多ノ支障續出セリ即チ製造當時ニ於テ各種ノ検査ヲ行ヒ完全ト認メタルモノカ數週後ニ於テ流化水素臭又ハ硫黃臭ヲ發シ或ハ尖端干燥シ黑變ヲ來シ未タ試賣ノ程度ニ達セス依ツテ更ニ研究ヲ要スルヲ以テ左記ノ通り行ヘリ

(イ) 研究方法

自八月卅日
至九月一日

A、C七十度ノ温水ニテ五回洗滌ナシ罐詰並ニ壘詰トセルモノ

但シ罐詰ノハ硫酸紙ヲ敷ケリ以下全様

B、全上洗滌シテ錯酸ヲ滴下シタル液ニ約五分間浸漬シ罐詰及壘詰トセルモノ

C、全上洗滌シテ水蒸シ罐詰及壘詰トセルモノ

D、全上洗滌ナシA、Bヨリ稍柔ク絞リ約一〇瓦ノオリーフ油ヲ注入シテ罐詰及壘詰トセルモノ

E、全上ノ如ク絞リ約十瓦ノラードヲ加ヘ罐詰及壘詰トセルモノ

F、全上トシ錯酸水ニ浸シ五分餘オリーフ油ニテ油燻セルモノヲ罐詰及壘詰トセリ

G、全上絞リオリーフ油ニテ揚ケタルモノヲ罐詰及壘詰トセリ

以上内容ハ乾堆翅十五匁ヲ用ヒタリ(温水洗滌後四十四匁トナル)

製

造

罐詰 (一封度立罐)

瓦斯拔

沸騰點

三十分

殺菌加熱

一〇五度一時間ノ後一〇〇度三十分

壘詰 (東京藤田製)

瓦斯拔

沸騰點

二十分

殺菌加熱

沸騰點 一時間

(ロ) 開罐概評

四月九日 製造後八ヶ月目

A、罐詰

底部罐ニ接シタル部分ハ前回ニ比シ黒變少ナキモ幾分ノ硫黃臭ト硫化水素臭アリ色澤良好ナラス

壘詰

B、罐詰

罐詰ニ比シ色澤可ナレ共臭氣アリテ堆翅ノ固有臭ト混シ臭ヲ發セリ、全ク腐敗セルモノ一個アリタリ

壘詰

C、罐詰

液清澄ナレ共硫黃臭アリ且ツ筋糸ノ一部ニ黒變ヲ見ルモ只尖端ノミニ止マル、開罐後數分時ニシテ堆翅

壘詰

D、罐詰

全體ニ幾分ノ黒變ヲ來セリ仍テ更ニ全品一罐ヲ開罐セルニ底部僅ニ黒變シ筋糸數本ハ漆黒ノモノアリシ

壘詰

E、罐詰

罐詰ノ如クゼリー狀物ナク少量ノ液ヲ存ス、全ク腐敗セルモノ四個アリ

壘詰

F、罐詰

色澤何レモ可ナレ共液著シク粘稠ナリ筋糸ノ黒變ハ罐詰程之ヲ認メス

壘詰

G、罐詰

底部ニ焦色ノゼリー狀物アリ上面色澤可ナレ共一部ニ黒變ヲ認ム

壘詰

H、罐詰

罐詰ノ如クゼリー狀物ナク少量ノ液ヲ存ス、全ク腐敗セルモノ四個アリ

壘詰

I、罐詰

ラード凝固シテ全面ニ附着シ底部ニハ特ニ多キモ色澤良ク味亦變化ナキモ、ラード過多ヲ認メ之ヲ煮熟

セルニラード蝕解シテ原狀ニ復シ味ニ何等ノ變化ナシ

壘詰

J、罐詰

外觀可良ト認メ開罐ヲ延期シ經過ヲ見ルコト、セリ

壘詰

K、罐詰

色澤可ナレ共筋糸柔軟ニシテ他ニ比シ細少ナリ之油燐ノ際收縮セルモノト認ム味ニハ變化ナシ

壘詰

L、罐詰

堆翅ニ鱗根アルモノハ不良ナレ共他ハ概シテ良好ナリ味ニ變化ヲ見ス

壘詰

M、罐詰

色澤良好ナラズト雖變味ナシ

壘詰

(ハ) 開罐ニ對スル結論

内容ニ硫化水素臭、並ニ硫黄臭ヲ感ズルハ堆翅ニ硫黄成分ノ含有スルモノ、如ク尙本試験ニ用ヒタル折生迫製造所ノ井水ハ盛夏ニ於テ特ニ硫化物臭強ク又多量ノ石灰ヲ含有スルヲ以テ一層硫黄臭ノ發生ヲ多カラシメタルモノ、如シ試験品中最モ良好ト認メラレタルEニ於テ筋糸ノ各部ニ黒變ヲ見ルハ鱧鱈製造ノ際負傷又ハ折曲シタル部分ニ多クヲ認ム

開罐數分時ニテ黒變ヲ來セルハ硫酸紙ノ洗方不充分ノ爲ニ酸化スルニアラサルカ

A、Bハ今一步進ンテ研究セハ相當ノ知識ヲ得ルモノト信スルモ本試験ハ全ク失敗ニ歸セリ此後試験ノ結果ニヨリ硫黄臭發生及黒變ノ原因ヲ研鑽シ更ニ原料鮮度ノ如何並ニ加熱温度ニ對スル研究ヲナサザレバ完成スル能ハス依テ水産講習所ヘモ右試験ノ報告ヲナシ原因調査ヲ依頼セリ

第三養殖

一、鯉兒配付

採卵及孵化
本年ハ四月五日ヨリ採卵ニ着手シ五月三十日ヲ以テ終了セリ

採卵一覽表

採卵月日	種類	親魚數		採卵數	備考
		雌	雄		
四月十八日	大和鯉	五尾	七尾	二八、〇〇〇粒	
四月二十六日	同	八尾	三尾	二〇、〇〇〇粒	

五月二日	同	三	四	二	二四、〇〇〇	
五月二十三日	同	三	四	二	一〇、〇〇〇	
計					八四、〇〇〇	

孵化日數ハ五日ヨリ六日ニシテ孵化率ハ八〇%乃至九〇%ナリ

孵化一覽表

採卵月日	採卵數	孵化日數	孵化率	孵化尾數	備考
四月十八日	二八、〇〇〇粒	六日	九〇%	二五、〇〇〇尾	
四月二十六日	二〇、〇〇〇	六日	八五%	一七、〇〇〇	
五月二日	二四、〇〇〇	五日	八〇%	一九、〇〇〇	
五月二十三日	一〇、〇〇〇	五日	八〇%	九、〇〇〇	
計	八四、〇〇〇			七〇、〇〇〇	

配付
本年ハ六月十三日ヨリ配付ヲ開始シ配付尾數十四万六千尾配付人員百十二名ニシテ各郡市別ニ表示スレバ左ノ如シ

鯉兒配付一覽表

郡市名	町村名	配付人員	配付尾數	備考

殖 養

東 白 杵 郡	兒 湯 郡	南 那 珂 郡
小 岡 細 恒 南 北 富 島 富 方 浦 計 村 町 村 村 村	小 上 高 新 川 江 鍋 田 南 計 村 町 村 村	小 市 北 吾 南 東 油 木 郷 田 郷 郷 津 計 村 村 村 村 村 町
七 二 一 二 一 一	八 一 三 一 三	二 一 二 三 二 一 二
110,000 50,000 100 40,000 10,000 1,500	16,000 4,000 11,600 1,000 三,400	27,150 10,000 六,250 四,500 九00 三,000 二,500
	一万尾團體出願	六千尾團體出願 團體出願

殖 養

北 諸 縣 郡	西 諸 縣 郡	東 諸 縣 郡	宮 崎 郡	宮 崎 市
小 高 崎 計 村	小 小 高 林 原 計 町 村	小 八 本 綾 代 庄 計 村 町 村	小 木 生 清 田 赤 廣 花 目 武 野 江 瀬 計 村 村 村 村 町 村	小 計
一 一	五 一 四	三 一 一 一	〇 一 一 二 二 三 一	四 四 人
五,000 五,000	九,000 1,000 八,350	八,100 100 五,000 三,000	三,100 10,000 三00 六,000 三,500 一,900 五00	二,300 二,300尾
	四千五百尾團體配付		團體配付	

合	西白杵郡	田原村	八、八五〇
	上野村	一、二五〇	
計	岩戸村	六、〇〇〇	
	高千穂町	九、四〇〇	
計	小計	二五、五〇〇	
	合計	一四六、〇〇〇	

二、産卵配付

産卵及孵化
 本年ハ六月九日ヨリ八月二十日ニ至ル間ニ二十二孕粒數四百十四個ヲ産セリ
 孵化ハ八月二十日ヨリ開始シ九月十七日ヲ以テ終了セリ、孵化頭數二百六十二頭ニシテ孵化率六割四分弱ニ相當セリ
 本年西諸縣郡高原村御池ニ於テ採取セシ天然産産卵ハ粒數七百十七個ニシテ孵化セシモノ二百七十七頭ナリ
 以上本場及御池ニテ孵化セシモノヲ合スルトキハ本年ハ五百三十九頭ナリ
 配付
 本年配付セシモノハ昨年孵化セシニ才兒ニシテ配付人員六名配付頭數四百六頭ナリ

三、しらす鰻飼育試験

本試験ハ大正十二年度以降ノ繼續試験ニシテしらす鰻ヲ養殖用鰻苗トシテ適當ナル大サニ養成スルヲ以テ目的トス
 採捕
 しらす鰻ハ大淀川河口附近ニ於テ三月二十四日採捕セリ
 放養
 三月二十五日左記ノ通り放養セリ

池ノ番號	面積	積	一坪ノ放養量	總放養量	備	考
イ 號 池		二	三〇〇	六〇〇		
ロ 號 池		二	二〇〇	四〇〇		
ハ 號 池		二	二〇〇	四〇〇		
ニ 號 池		二	一〇〇	二〇〇		

飼育

放養當時ハ糸み、ズヲ與ヘ四月下旬ヨリハ人工餌料ヲ主トシ時々糸み、ズヲ投與セリ、人工餌料トシテハ小麥粉ヲ煮沸シ固キ糊狀トナリタルモノニ蠶蛹及雜魚ノ粉末ヲ混入シ小麥ヲ以テ此等粉末ガ飛散セザル程度ニ捏リ固メタルモノヲ用ヒタリ
 飼育期間ハ大正十四年三月二十七日ヨリ全年十二月六日迄トシ投餌量及取揚數量ヲ示セバ左ノ如シ

養 殖

取揚月日	取揚量	投餌量	小麥粉	魚粉	備考	池
三月二十五日	一、七四匁	五、三升	五、三〇〇匁	七、五升	魚粉及蛹粉ハ小麥粉ヲ以テ捏リ固ムルモ飛散スルモノ非常ニ多シ、糸ミ、ズハ全部完全ニ捕食サレ餌料トシテハ最も適當ナリ	イ 號池
同	一、五七七	四、四	四、四〇〇	五、二		ロ 號池
同	一、四七一	四、四	四、四〇〇	五、二		ハ 號池
同	八、〇〇	三、一	三、一〇〇	三、七		ニ 號池

本年ハ總テノ増肉量ニ於テハ稍々劣リタレドモ大体ニ於テ太サニ大ナル不同ヲ生セズ一匁内外ノモノ最も多ク其他ノモノハ少ク特ニ大ナルモノハ非常ニ減ゼリ、各大サヲ示セバ左ノ如シ

五百五十三匁 一匁五分以上ノモノ
 三貫二百五十匁 一匁五分以下五分以上ノモノ
 一貫八百二十匁 五分以下ノモノ

餌料トシテハ糸ミ、ズ最モ適當ナレドモ價額高價ナルト多量ニ得難キ爲メ此レノミヲ以テ飼育スルハ困難

養 殖

線越數	鯉放養數	投餌開始月日	取揚月日	投餌日	賣却量	鯉取揚量	投餌量	池
三、六〇〇匁	二〇〇尾	三月十五日	七月二十一日	七月二十一日	四、七〇〇匁	一八、五〇〇匁	九、八四〇匁	第四號池
一八、〇〇〇	二〇〇尾	三月十五日	九月五日	九月五日	三、〇〇〇匁	二一、四〇〇匁	二〇、二七〇匁	第五號池
二〇、〇〇〇	二〇〇尾	三月十五日	九月五日	九月五日	三、〇〇〇匁	二一、四〇〇匁	二〇、二七〇匁	第六號池

ナリ、又小麥粉及蛹雜魚粉ヲ用フル時ハ粉末ノ飛散スルモノ多ク未ダ完全ナル餌料ニアラザルヲ以テ今後ノしらす鰻飼育ニハ投餌方法及餌料ニツキ特ニ研究ヲ要ス

四、養鰻試驗

本試驗ハ鰻ノ成長度、餌料及經濟試驗ヲモ併セテ行ヒ民間ニ範ヲ示シ養鰻業ノ發達ヲ計ルヲ以テ目的トス

放養及取揚
 昨年度ノ線越魚ノ取揚成績ヲ示セバ左記ノ如シ

養 殖

備考	放養月日	放養量	繰越量	新放養量	鯉兒放養數	投餌開始月日	投餌終了月日	投餌日	投餌量	備考	
本年度放養及投餌量 本年度ヨリ更ニ二百十七坪ノ池一區ヲ養鰻試験ニ用フル事トセリ、各池ノ放養及投餌量ヲ示セバ左ノ如シ	第四號池	九月七日	一七、〇〇〇	一七、〇〇〇	二〇〇尾	九月十日	十二月八日	九月十日	八、八七〇 一七、〇〇〇	各池共ニ五月頃ヨリい かり虫發生シ且ツ近年 稀ニ見ル干魃ニテ投餌 意ノ如ク行カズいかり 虫ノ研究ニテ了レリ、	
	第五號池	七月二十五日	一五、〇〇〇	四、〇五〇	二〇〇尾	七月二十六日	十二月七日	七月二十六日	一三、五〇〇 一五、九〇〇		
	第六號池	九月十一日	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	二〇〇尾	九月十四日	十二月七日	九月十四日	八、五〇〇 一三、〇〇〇		
	第一八號池	九月九日	三、〇〇〇	八、七五〇	四〇〇尾	九月十四日	十二月七日	九月十四日	二、二五〇 三、〇〇〇		
	種鰻一尾七匁平均										
	新放養ハ大淀川ノ 上流地方綾産ナリ										

養 殖

月日	採卵數	雌魚數	雄魚數	親魚重量	備考
十月二十五日	三、〇〇〇	二七尾	一九尾	二、九二〇	
十月二十六日	二、六〇〇	一五	九	四、八二〇	
十月二十七日	二、二〇〇	一〇	一	五、四九〇	
十月二十八日	一、四〇〇	二〇〇	一五	四、〇〇〇	
十月二十九日	三、七〇〇	二九七	三三七	六、八〇〇	
十月三十日	二、四〇〇	二九	一五四	八、五〇〇	
計	二〇、〇〇〇	一、一七〇	九〇八	三三、五六〇	

五、鮎人工孵化放流試験
本年度モ亦耳川筋ノ余瀨河畔ニ臨時孵化場ヲ設置シ第一回ヲ十月二十五日ヨリ十月三十日ニ至ル六日間ニ
第二回ヲ十一月十八日ヨリ十一月二十九日ニ至ル十二日間ニ採卵シ孵化放流セリ
親魚捕獲及採卵
採卵用親魚ハおこり掛及空掛ニテ捕獲セシ事ハ例年同様ニシテ採卵粒數及親魚數量ヲ示セバ左表ノ如シ

第一回

第二回

十一月十九日	一、四〇〇,〇〇〇	二六〇	一、五三	四、一〇〇
十一月二十日	二、一〇〇,〇〇〇	四四	二二四	八、四六〇
十一月二十一日	一、八〇〇,〇〇〇	四三	二六七	八、二八〇
十一月二十二日	四、三〇〇,〇〇〇	九	二〇	四、三三〇
十一月二十三日	七〇〇,〇〇〇	五	五	一、六〇〇
十一月二十四日	六〇〇,〇〇〇	六	一六	一、五〇〇
十一月二十五日	六〇〇,〇〇〇	六	四	二、三四〇
十一月二十六日	六〇〇,〇〇〇	六	三	一、八五〇
十一月二十七日	六〇〇,〇〇〇	七	六	一、七〇〇
十一月二十八日	三、四〇〇,〇〇〇	七	六	一、〇七〇
十一月二十九日	二、一八〇,〇〇〇	七	九	四、三三〇
計				

孵化放流

第一回採卵分ハ十一月十一日ヨリ孵化ヲ開始シ十一月十六日ヲ以テ終了セリ、死卵數約一割ニシテ孵化放流セシモノ千四百四十八万四千尾トナレリ

第二回採卵分ハ十二月二十日ヨリ孵化ヲ開始シ昭和二年一月四日ヲ以テ終了セリ、死卵數一割五分ニシテ孵化放流セシモノ九百五十万三千尾トナレリ

以上二回ニ於テ採卵セシ粒數二千三百九十四万粒ニシテ孵化放流セシ尾數二千九十八万七千尾ナリ、孵化期中ニ於ケル氣温及水温ハ第一回分採卵當時ノ十月二十六日午前六時ハ氣温一〇、五度水温一五度ニ

シテ午後二時ハ氣温二一度水温一七度ナリ、孵化終了當時ノ十一月十八日午前六時ハ氣温一〇度水温一〇度ニシテ午後二時ハ氣温一七度水温一五度ナリ、第二回分ノ採卵終了ノ十一月二十九日午前六時氣温六度水温一〇度ニシテ午後二時ハ氣温一六度水温一一度ヲ示セリ

六、公魚移殖試験

大正十三度以來ノ繼續試験ニシテ從來ハ鹿兒島縣揖宿郡山川村鰻池ヨリ公魚卵ヲ購入シ孵化放流ヲ行ヒタレドモ未ダ結果分明セズ且又本縣ノ移殖場所ハ汽水ナル爲メ寧ろ島根縣宍道湖ヨリ公魚卵ヲ移殖スルガ適セルモノナラントノ見解ノ下ニ本年度ハ宍道湖ヨリ公魚卵ヲ購入シ一ツ葉入江へ孵化放流セリ

移殖

本年ハ壹千万粒ヲ二回ニ分チ第一回ハ三月八日第二回ハ三月二十五日各五百万粒宛輸送セリ、二回共ニ輸送成績極メテ良好ニシテ第一回分ハ輸送中ノ死卵約二割弱ニシテ第二回分ハ約二割五分ナリ

孵化放流

第一回分ハ到着後ノ經過モ極メテ良好ニシテ死卵ヲ生ズル事モ少ク三月十四日發眼シ三月二十日ヨリ孵化ヲ開始シ三月二十三日終了セリ、孵化率約八割ニシテ約四百万尾ヲ孵化放流セリ、第二回分ハ三月二十八日發眼シ四月三日ヨリ孵化ヲ開始シ四月六日ヲ以テ終了セリ、孵化率約七割ニシテ三百五十万尾ヲ孵化放流セリ

以上二回ニ於テ孵化放流セシモノ約七百五十万尾ニシテ移殖卵數ノ約七割五分ニ相當セリ、孵化期中ノ氣象ハ三月九日午前六時氣温四、五度水温九、五度ニシテ午後二時氣温一五、五度水温一九度ナリ、第一回分ノ孵化當時ノ三月二十一日午前六時氣温九、五度水温一〇度ニシテ午後二時ハ氣温一二、五度水温一七度ヲ示シ第二回分孵化終了迄ハ大ナル變化ナシ

七、蠶 移殖 試驗

本試驗ハ昨年度以來ノ繼續試驗ニシテ東白杵郡富高町梶木沿岸ニ鋼延繩餌料タル蠶ヲ移殖蕃殖セシムルヲ以テ目的トス、昨年度ハ尾道市ヨリ蠶ヲ購入セシモ生産少ク漸ク千百餘疋ヲ移殖セシノミニテ豫期ノ數ヲ移殖スル事能ハズシテ輸送試驗ノミニテ了レリ

移殖

第一回

移殖 數量 千百四十二疋

採取並處理 十一月十一日午前七時ヨリ午前九時マデニ新居郡西條町沿岸ニ於テ採集セシモノヲ翌

十二日午前四時迄沖合活船へ蓄養セリ、

荷造 方法 イ、容器桶直徑一尺一寸深一尺五寸桶へあぢもヲ詰メ込ミ其中へ蠶ヲ入レ荷造セリ、

疋數七百四十二疋

ロ、容器、箱、長一尺、巾七寸、深五寸箱へ砂ヲ詰メ其中へ蠶ヲ入レ荷造セリ

疋數二百疋

ハ、容器、桶 徑六寸、深八寸虫ノミヲ桶ニ入レ荷造セリ

疋數二百疋

發 送 十一月十二日午前六時四十分西條町ヲ發シ千前八時三十分今治へ到着シ午前十時同地

發ノ汽船へ積込ミタリ

殖 養

到 着 十一月十三日午後五時細島港へ到着シ直チニ富高町梶木へ輸送シ移殖場所へ到着セシ

ハ午後六時三十分ナリ

到着當時ノ狀態 今治發送ヨリ移殖場到着マデ約三十三時間ヲ要セリ、到着當時ノ氣溫及荷造中ノ溫度

ヲ示セバ左ノ如シ

十一月十三日午後七時

氣 溫 二〇、八

あぢも中ノ溫度 二〇、〇

砂中溫度 一九、八

蠶ノミ中ノ溫度 一九、七

イ、容器桶ニテ深カ、リシ爲メ下層約三割ハ上部あぢもノ爲メニ壓セラレ非常ニ衰弱

セルヲ認メタレドモ約七割ハ元氣ナリ

ロ、總テ衰弱セルヲ認メタリ

ハ、數量少キ爲メ(ロ)同様ナリ

到着後ノ處理十一月十三日ハ夜ニ入り放養困難ナル爲メ翌十四日早朝放養スル事ト干生籠へ入レ海水ノ流

通ヨキ處へ畜養セリ

放養當時ノ狀態十一月十四日午前七時放養場所へ運搬シ放養セシニ其當時ノ狀態左ノ如シ

イ、昨夜ノ畜養當時ニ比スレバ非常ニ元氣回復シ干潟ヲ打チ返シ撒布セシニ七割以上

ハ直チニ砂中へ潛入シ約一割餘ハ動作極メテ遲鈍ナリシモ斃死セシモノハ約一割ニ

過ギザリキ

ロ、元氣極メテ惡ク直チニ砂中へ潛入セシモノ約三割ニシテ約三割ハ斃死シ其他ハ元

殖 養

氣ナリ潛入スル事ヲ得ザルヲ認メタリ
ハ、前者ト大差ナシ

放養當時ノ氣溫及砂中水溫
十四日午前七時氣溫一八、二

水溫 一七、八

第二回

移殖數量 八百十五疋

採取及處理 十一月二十二日午前六時頃ヨリ午前七時三十分頃マデニ採集シ翌二十三日午前四時頃マデ沖合活船中へ畜養セリ

荷造方法

前回ノ結果ヨリ見ルトキハあぢもヲ以テ荷造セシモノ成績良好ニシテ昨年試験セシ結果ト一致セリ、然レドモあぢもヲ以テ荷造スル場合ハ下部ノモノ壓セラル、憂ナキ様容器ノ淺キモノヲ用フル必要アルヲ認メタルヲ以テ今回ノ容器ハ箱ヲ用ヒ大サハ長一尺五寸、巾一尺一寸、深七寸トシ、發送ニ際シ活船中ノ九百五十疋ヨリ健全ナルモノハ八百十五疋ヲ撰別シ箱二個ヘ分チあぢもト共ニ荷造セリ

發送

到着

到着當時ノ狀態

十一月二十三日午前六時四十分西條町ヲ發シ午前十時今治發ノ汽船へ積込ミタリ
十一月二十四日午後七時梶木へ到着セリ
今回輸送セシモノハあぢもニテ壓セラル事ナリ極メテ元氣ニシテ損傷ノ爲メ斃死セシモノ十數疋ヲ出セシノミナリ、到着當時ノ氣溫及箱中ノ溫度ヲ示セバ左ノ如シ
十一月二十四日午後七時
氣溫 一三、五 箱中ノ溫度 一三、五

到着後ノ處理

前回同様

養

殖

放養當時ノ狀態 十一月二十五日午前三時放養セシニ到着當時ヨリ一層元氣ニシテ直チニ地底へ潛入スルヲ認メタリ當時ノ氣溫及砂中水溫ヲ示セバ左ノ如シ

氣溫 七、八 砂中水溫 一一、〇

第三回

移殖數量 二千四百十疋

採取及處理 十一月二十四日午前六時三十分頃ヨリ午前八時頃マデニ採集シ沖合活船へ畜養セシ事前同様ナリ

荷造方法

二千四百十疋中健全ナルモノ二千四百十疋ヲ撰別シ箱三個ニ分チテ前回同様ノ方法ヲ以テ荷造セリ、

發送

到着

到着當時ノ狀態

到着後ノ處理

放養當時ノ狀態

前同様ノ経路ニテ二十五日午前十時今治發ノ汽船へ積込ミタリ
十一月二十六日午後六時三十分梶木へ到着セリ
前同様ナリ
十一月二十七日午前五時放養セシニ極メテ元氣ナリ、放養當時ノ氣溫及水溫ヲ示セバ左ノ如シ
氣溫 九、八 砂中水溫 一一、〇

第四回

移殖數量 千九百二十疋

採取並處理 十二月二十四日午前七時頃ヨリ午前八時三十分頃マデ及二十五日午前七時三十分頃ヨリ午前九時頃マデノ二回ニ亙リテ採取シ荷造マデ沖合活船へ畜養セリ

荷造方法 二千七百中健全ナルモノ千九百二十疋ヲ撰別シ箱三個ニ分チテ荷造セリ
 發送 十二月二十六日荷造後直チニ今治へ送付シ同地ヨリ汽船へ積ミ込ミタリ
 到着 十二月二十八日午後十時梶木へ到着セリ

到着當時ノ状態 前回同様ナリ
 到着後ノ處理 前回同様ナリ
 放養當時ノ状態 十二月二十九日午前八時放養セシニ前回ヨリ寒氣烈シキ爲メ元氣稍々衰へ動作遲鈍ナルヲ認メタリ當時ノ氣溫及水溫ヲ示セバ左ノ如シ

氣溫 三、五 砂中水溫 五、三

以上四回ニ於テ輸送セシ數量ハ六千七百疋ニシテ第二、第三回ハ共ニ輸送成績良好ニシテ第四回此ニツギ
 第一回最モ不良ナリ、各回ニ於ケル荷造方法及氣溫等ヨリ考察シ輸送ニ對シテハ左記ノ如キ結論ヲ得タリ

- 一、荷造ヲナスニハあぢも最モ良好ナリ
- 二、容器ハ箱ヲ用ヒ深サヲ七寸以下トナス事
- 三、輸送時期ハ十一月中旬ヨリ十二月上旬ニ至ル間ニシテ氣溫ハ八度ヨリ一四度ヲ適温トス

八、鰻 投餌器

本場技手吉武實ノ考案ニシテ實用新案登錄第一〇八六八四號ヲ以テ登錄セラレタルモノナリ
 構造

四本ノ杭(1)ヲ池中へ立テ此レニ二本交叉セル横木(2)ヲ取リツケ横木(2)ニハ四本ノ支柱(3)ヲ挿入シ得ル四個ノ穴(13)ヲ設ク支柱(3)ノ上部ハ圓柱トシ螺旋ヲ設ケ下部ハ圓筒(5)ノ在ル部分ヲ平板トス、投餌器ハ支柱(3)ヲ横木(2)ノ穴(13)中へ挿入シ振子(8)ニヨリテ吊リ且ツ投餌器ハ振子(8)

ヲ廻轉セシムル事ニ依テ自由ニ上下セシムル事ヲ得、投餌ノ場合ハ台(4)ノ上面ハ必ズ水面(9)上へ出ズル様ニナス、金屬製板ノ圓筒(5)ハ餌料ヲ入ル、所ニシテ台(4)ト圓筒(5)ノ下端トノ間ニ適當ノ間隙ヲ設ケル様圓筒(5)ヲ支柱(3)へ固定セシメ鰻ヲシテ自由ニ此間隙ヨリ圓筒(5)内ノ餌料ヲ捕食セシム、圓筒(5)ニハ四個ノ長方形ノ穴(10)ヲ穿チ支柱(3)ニモ圓形ノ穴(14)ヲ設ケ振子(7)ニヨリテ兩者ヲ固定ス、固定スル場合ハ圓筒(5)ニ長方形ノ穴(10)ヲ穿チアルニヨリ圓筒(5)ノ上下ハ自在ナルガ故ニ鰻ノ大サニ應ジテ圓筒(5)ノ下端ト台(4)トノ間隙ハ任意ニ定ムル事ヲ得、台(4)ノ中央部ニ圓筒(5)ヨリ直徑小ニシテ圓筒(5)ヨリ低キ圓錐體(6)ヲ定着セシム、此圓錐體(6)ハ餌料ヲ圓筒(5)内へ投入セシ場合鰻ガ台(4)ノ周縁へ群集シ下部ノ餌料ヲ圓筒(5)ノ下端ト台(4)トノ間隙ヨリ捕食スルニ從ヒ漸次上部ノ餌料ヲ台(4)ノ周縁へ集合セシメ鰻ガ水中ヨリ容易ニ捕食シ得ル様ニ設ケタルモノナリ、鰻ガ下部ノ餌料ヲ捕食シ上部ノ餌料下降スル際水中へ落下スル憂アルガ故ニ此ヲ防グ爲メ台(4)ノ上面直徑ハ圓筒(5)ノ直徑ヨリ大ラシム、台(4)ノ周縁ニハ斜面ヲ設ケ鰻ガ台(4)上へ容易ニ上リ得ル様ニナス、台(4)ノ下面ニハ十字形ニ金屬製板(11)ヲ設ケ支柱(3)ト振子(12)ニテ固定ス

使用方法

本器ハ餌付セシ鰻へ投餌スル場合使用スルモノニシテ初メテ投餌器ヲ使用スル場合ハ器中へ餌料ヲ投入シ少量宛器ノ周圍へ撒餌シ一回丈ケ鰻ヲ誘導スルトキハ其後ハ自ラ台上へ上リ捕食ス、又使用初ハ台ノ上面ヲ殆ンド水面同様トシ四五日目頃ヨリ漸次台ヲ高クシ一週間後に至レバ水面ヨリ五分高トシ散餌ヲナカラシム圓筒ト臺トノ間隙ハ鰻ノ大サニ應ジ適宜定ム、

効果

本器ハ水面上ニ於テ鰻へ餌料ヲ與フル裝置ニシテ餌料ハ常ニ水面上ニアリ少量宛鰻ガ圓筒ノ下端ト臺トノ

間隙ヨリ頭ヲ突込ミ捕食シ左記ノ長所アリ

- 一、餌料ガ水中ヘ飛散スル事ナク從テ残餌腐敗シ水質ヲ害スル事ナシ
- 二、投餌ニ對シテハ投餌器ヘ餌料ヲ投入スルノミナレバ勞力ヲ非常ニ節減スル事ヲ得
- 三、残餌ヲ生ジタル場合ハ水面上ノ圓筒内ヘ止リ多過ノ餌料ヲ投入スルトモ其爲メニ水質ヲ害スルガ如キ事ナシ
- 四、本器ヲ使用スル時ハ總テノ鰻ヘ攝餌セシムル事ヲ得
- 五、過剩ノ餌料ハ器中ヘ止リ攝餌量ヲ正確ニ知ル事ヲ得ルガ故ニ投餌量ノ増減ヲ決定スル事容易ナリ

第四調 査

趣旨

本調査ハ大正七年度ヨリ繼續事業ニシテ縣下沿岸及沖合ニ於ケル海洋ヲ物理化學生物學的ノ三方面ヨリ調査シ重要水族ノ去來豊凶ヲ支配スル要素ヲ研究シテ漁業ノ健實ナル發達ヲ圖ルベキ資料ヲ得ルニ在リ而シテ東京水産講習所並ニ各地ノ水産試験場ト相互ニ聯絡シ其ノ効果ヲ確實ナラシメンコトヲ期セリ

一、沿岸 定 置 観 測

東臼杵郡島野浦全細島宮崎郡内海南郡珂郡宮ノ浦ノ四ヶ所ニ觀測員ヲ囑託シ毎月五回午后四時ニ一定ノ場所ノ氣温水温比重透明度潮候波浪流向風向風力雲量天候海底ヨリ表面ニ至ル浮ヲ採集セシム

最高ハ宮ノ浦九月二日三三、四度内海八月一日三三、三度細島八月十二日三二、〇度島野浦八月十七日二

九、五度ニシテ最低ハ宮ノ浦二月十一日九、一度内海十二月二十五日九、二度細島十二月二十七日八、九島野浦二月二十一日八、〇度ナリ

水温

最高ハ宮ノ浦九月二十二日表面二六、〇度内海八月二十五日表面二八、一度細島八月二十六日表面二八、〇度島野浦八月二十六日表面二七、六度ニシテ最低ハ宮ノ浦二月二十一日二十六兩日下層一六、〇度内海、二月二十二日下層三月十一日中層下層十六日中層一五、五度細島三月二十一日表面一五、五度島野浦二月二十一日表面中層一四、八度ナリ

比重

最高ハ宮ノ浦四月二十一日下層一、〇二六三〇内海、三月六日中層、一、〇二五八三細島十二月十七日下層一、〇二六〇八島野浦四月十六日下層、一、〇二六一七ニシテ最低ハ宮ノ浦十月一日表面、一、〇二三九四内海、七月八日表面一、〇一四一五細島六月二十七日表面一、〇二二六一島野浦七月十一日表面一、〇二四三ナリ

定 置 観 測 表

場 所	年 月 日	透 明 度	浮 量	風 向	潮 候	雲 量	氣 温	水 温			比 重	
								表 面	中 層	下 層		
南 都 井 村 宮 河 郡 浦	四 月 一 日	9	W	滿 6	5	175	160	155	115	2554	2563	2558
	六 日	16	W	滿 7	0	190	165	165	170	2531	2551	2803
	十 一 日	23	W	滿 10	4	185	150	155	155	2525	2554	2587
	十 六 日	30	S	滿 6	5	174	162	162	160	2550	2547	2592
	二 十 一 日	14	S	滿 2	5	187	170	168	167	2612	2608	2630
	平 均					182	161	161	161	2554	2565	2594

圖一

七 月 二十 七日 均	日 日 日 均	清 清 清 清	10 8 8 12	N N N N	滿 千 千 千	3 2 1 3	2 5 2 3	235 215 218 300 242	201 194 196 194 196	200 192 194 193 175	198 191 192 192 193	2417 2498 2476 2481 2468	2428 2517 2495 2482 2479	2441 2535 2523 2492 2498
八 月 二十 一日 均	日 日 日 均	清 清 清 清	10 2 14 24 18	N N N N N	滿 千 滿 滿	3 1 5 10 3	0 0 0 0 0	293 301 295 299 300 298	257 257 258 256 257 257	255 256 256 255 256 256	254 254 255 254 255 254	2600 2595 2601 2550 2591 2595	2504 2504	2474 2417 2569 2539 2547 2509 2509
九 月 二十 六日 均	日 日 日 均	清 清 清 清	2 2 8 2 2 2	S S S S N N	滿 滿 千 滿 滿	10 8 5 10 7	3 0 0 0 3 8 0	334 327 300 299 278 280 303	258 259 255 257 260 259 258	255 255 254 255 257 257 255	250 253 252 254 256 254 253	2533 2342 2548 2565 2518 2556 2510	2495 2430 2548 2561 2550 2543 2561	2426 2450 2462 2534 2466 2468
十 月 二十 七日 均	日 日 日 均	清 清 清 清	2 6 5 6 2	S SE S S N S	千 滿 滿 滿 千	8 2 5 8 1	2 5 8 0 0	234 213 230 220 222 224	248 245 244 248 246 246 246	245 244 242 246 245 244 244	245 244 240 245 244 244 244	2394 2424 2438 2404 2498 2432	2416 2442 2450 2534 2488 2404	2426 2450 2462 2534 2466 2468

極

靈

十 一 月 二十 六日 均	日 日 日 均	清 清 清 清	10 18 4 6	SE S S S SE	千 滿 滿 滿 千	7 9 4 10 3 1	0 5 5 0 0 0	188 202 171 195 185 187 188	217 216 208 218 209 211 213	216 215 206 217 207 212 212	215 213 205 215 205 215 211	2511 2532 2524 2534 2555 2564 2537	2534 2554 2555 2575 2574 2582 2562	2545 2562
十 一 月 二十 七日 均	日 日 日 均	清 清 清 清	2 8 2	SE SE E SE	滿 千 滿 千	3 5 10 5	0 0 8 0	142 130 153 151 144	205 180 198 201 196	195 188 195 198 194	190 185 193 190 190	2436 2585 2584	2553 2610 2579	2583 2508 2604
十 一 月 二十 六日 均	日 日 日 均	清 清 清 清	8 30 2 20	E S SE SE	滿 千 千 滿	3 8 8 10	2 4 0 0	104 91 102 95 98	170 165 162 165 166	168 164 162 165 165	167 162 160 160 162	2462 2449 2485 2501 2474	2479 2467 2504 2510 2496	2485 2486 2523 2514 2503
十 二 月 二十 七日 均	日 日 日 均	清 清 清 清	4 36 38	SE S S SE	滿 滿 滿 滿	3 7 10 6	0 7 0 2	140 143 165 145 148	168 171 175 165 170	166 170 170 170 169	165 168 165 170 167	2516 2500 2493 2532 2510	2547 2518 2541 2541 2537	2587 2555 2559 2578 2570

查

靈

場所	月	日	透明度	量	風向	潮候	雲量	氣溫	水			比			層		
									表面	中	層	表面	中	層	表面	中	層
宮崎 青島村 内海	四	二 日	清	52	E	干10	10	170	167	164	165	2427	2516	2536			
			清	22	SSE	干1	1	175	170	167	167	167	2549	2548			
			濁	48	E	干10	0	142	166	163	163	2536	2536				
			清	20	SSE	干1	5	173	167	165	162	2553	2528				
平均	27日	平均	4	SSE	干3	4	175	165	161	163	2538	2540	2543				
同	五	一 日	清	6	SE	干2	1	188	185	172	172	2514	2536	2543			
			濁	5	N	干1	1	187	187	180	180	2408	2511				
			濁	6	E	干8	6	203	190	180	186	2428	2539				
			清	2	N	干10	7	235	203	198	195	2112	2326				
平均	31日	平均	8	W	干9	9	234	203	204	200	2484	2538					
同	六	三 日	濁	48	SE	干7	6	225	210	205	200	2561	2506	2480			
			濁	16	SE	干8	10	235	220	218	217	2492	2544				
			濁	4	SE	干1	3	223	225	222	223	2441	2468				
			濁	12	E	干1	8	245	239	230	236	2513	2481				
平均	14日	平均	4	S	干1	9	247	240	233	234	1532	2122	2501				
同	七	八 日	濁	5	SE	干9	9	234	222	223	224	1415	2448	2468			
			濁	7	SE	干3	5	270	258	242	235	2327	2150				
			濁	10	SE	干7	6	269	362	238	217	2429	2480				
			清	4	SE	干10	4	275	256	249	248	2476	2483				
平均	16日	平均	4	SE	干10	4	275	256	249	248	2476	2483					

羅

同

七 月
八 日

濁 半濁

5 7 10 4

SE SE SE SE

滿 滿 滿 滿

9 5 6 4

234 270 269 275

222 258 362 256

223 242 238 249

224 235 217 248

1415 2327 2429 2476

2448 2150 2480 2483

2468 2405 2531 2496

羅

羅

場所	月	日	透明度	量	風向	潮候	雲量	氣溫	水			比			層		
									表面	中	層	表面	中	層	表面	中	層
同	九	五 日	清	6	SE	干3	3	287	274	269	263	2491	2505	2532			
			清	3	W	干6	8	279	269	268	257	2480	2543				
			濁	2	W	干10	2	274	263	264	265	2379	2483				
			濁	6	S	干2	10	279	267	262	249	2478	2504				
平均	23日	平均	2	E	干10	2	279	275	257	254	2512	2527					
同	十	四 日	濁	4	N	干10	7	217	234	236	241	2449	2481	2501			
			濁	5	W	干10	1	185	230	234	229	2500	2516				
			濁	8	E	干8	1	212	235	236	229	2448	2468				
			濁	10	E	干8	1	210	234	234	228	2468	2485				
平均	26日	平均	8	W	干1	7	225	229	229	2491	2491	2500					
同	十一	八 日	濁	12	N	干8	2	180	215	215	212	248	2495	2496			
			濁	8	N	干6	0	205	225	221	210	2553	2515				
			濁	4	N	干10	10	182	213	221	207	2524	2521				
			清	14	E	干10	10	159	209	209	200	2525	2513				
平均	16日	平均	14	E	干10	10	159	209	209	200	2525	2513					

羅

同	日	時	風向	風力	雲量	氣溫	水			比		
							表	中	下	表	中	下
同	二十七日	平均	19	滿 9	3	160	195	192	187	2519	2513	2521
同	二十五日	平均	N	滿 7	9	177	211	210	203	2521	2511	2514
同	二十五日	平均	N	滿 3	10	195	195	200	193	2477	2527	2529
同	二十五日	平均	N	滿 3	10	153	186	190	180	2499	2520	2529
同	二十五日	平均	N	滿 3	10	120	166	170	175	2438	2502	2518
同	二十五日	平均	W	滿 9	9	92	161	165	162	2538	2550	2542
同	二十五日	平均	E	滿 9	3	133	163	155	150	2529	2499	2520
同	二十五日	平均	E	滿 9	3	139	174	176	172	2494	2520	2524
同	二十六日	平均	W	滿 2	8	165	160	168	160	2489	2529	2546
同	二十六日	平均	N	滿 10	10	150	165	170	165	2530	2550	2550
同	二十六日	平均	E	滿 10	1	125	172	172	166	2532	2539	2529
同	二十六日	平均	N	滿 3	10	130	171	175	171	2515	2541	2571
同	二十六日	平均	W	滿 10	4	120	170	170	163	2514	2546	2554
同	二十六日	平均	W	滿 10	4	138	167	171	265	2523	2541	2549
同	二十六日	平均	W	滿 8	6	125	180	182	175	2538	2519	2547
同	二十六日	平均	W	滿 9	3	135	171	170	168	2564	2560	2554
同	二十六日	平均	SE	滿 7	8	162	166	166	164	2526	2536	2543
同	二十六日	平均	S	滿 9	5	127	158	160	155	2480	2543	2523
同	二十六日	平均	S	滿 9	5	115	160	161	156	2547	2542	2528
同	二十六日	平均	SE	滿 8	10	133	167	168	164	2531	2540	2540
同	二十六日	平均	SE	滿 8	10	128	157	156	156	2460	2583	2581
同	二十六日	平均	SE	滿 9	5	125	156	155	155	2503	2533	2578
同	二十六日	平均	SE	滿 9	4	110	160	155	159	2356	2395	2523
同	二十六日	平均	S	滿 8	6	180	165	160	164	2422	2467	2464

二十七日	平均	8	SSE	干 7	0	170	164	159	163	2462	2468	2502
二十七日	平均	8	SSE	干 7	0	143	160	156	159	2441	2489	2357

同	日	時	風向	風力	雲量	氣溫	水			比		
							表	中	下	表	中	下
同	四日	平均	19	滿 3	2	189	165	163	161	2500	2518	2527
同	四日	平均	S	滿 4	3	180	166	165	163	2485	2508	2526
同	四日	平均	NE	滿 6	10	132	167	165	160	2555	2568	2568
同	四日	平均	W	滿 2	10	189	170	165	165	2173	2507	2571
同	四日	平均	S	滿 7	2	175	165	162	160	2401	2515	2515
同	四日	平均	W	滿 7	2	132	167	164	162	2501	2523	2541
同	五日	平均	NE	滿 5	3	179	172	198	165	2446	2493	2509
同	五日	平均	N	滿 5	2	219	214	197	184	2282	2417	2488
同	五日	平均	E	滿 3	3	222	217	209	207	2532	2562	2582
同	五日	平均	E	滿 3	3	207	201	191	185	2430	2491	2528
同	六日	平均	SE	滿 6	2	265	214	197	184	2476	2537	2553
同	六日	平均	S	滿 2	10	262	212	195	185	2504	2545	2555
同	六日	平均	NE	滿 2	10	251	232	224	214	2473	2493	2554
同	六日	平均	NE	滿 2	8	266	244	236	227	2211	2434	2464
同	六日	平均	NE	滿 2	8	261	226	213	203	2439	2502	2534
同	七日	平均	E	滿 7	9	278	243	226	224	2386	2461	2450
同	七日	平均	S	滿 8	4	286	240	228	224	2406	2533	2550
同	七日	平均	S	滿 3	9	270	250	226	220	2418	2512	2531
同	七日	平均	NE	滿 5	2	295	255	224	222	2404	2480	2489

十四

二十八日 平均	清	40	E	滿3	3	3	292	245	232	225	2452	251	2559
八月 二十七日 二十六日 平均	清	12	E	滿4	2	0	310	270	235	244	2450	2492	2510
	清	18	S	滿7	8	302	320	265	235	224	2430	2456	2484
	清	10	S	滿9	8	310	302	272	255	252	2427	2515	2536
九月 二十九日 二十六日 平均	清	14	S	滿4	3	3	310	278	270	264	2521	2539	2554
	清	12	S	滿	3	3	310	280	260	256	2545	2542	2586
	清	4	S	滿	2	4	285	273	254	248	2475	2509	2522
十月 二十七日 二十三日 平均	清	2	S	滿8	3	3	300	276	265	258	2512	2521	2525
	清	3	S	滿2	2	2	292	270	266	262	2500	2506	2524
	清	2	S	滿8	3	3	302	262	242	232	2380	2506	2506
十一月 二十九日 二十七日 平均	清	4	S	滿	2	4	265	260	258	255	2467	2429	2426
	清	2	S	滿	2	2	265	255	252	250	2458	2474	2474
	清	10	S	滿	2	2	222	265	257	251	2495	2487	2491
十二月 二十九日 二十七日 平均	清	5	W	滿9	2	4	215	213	212	211	2368	2398	2418
	清	5	N	滿6	4	1	223	219	219	221	2437	2444	2461
	清	3	W	滿7	1	5	226	237	237	236	2500	2496	2486
二十七 日均	清	6	N	滿2	4	5	172	211	209	206	2516	2516	2534
	清	8	N	滿2	5	3	175	207	205	205	2523	2541	2538
	清	6	N	滿3	3	1	168	205	205	204	2500	2500	2518
二十七 日均	清	6	W	滿	1	1	162	204	204	202	2529	2510	2510

羅

二十七 日均	清	10	N	滿3	3	3	145	194	192	191	2499	2517	2517
十二月 二十七日 二十七日 平均	清	2	W	滿10	2	1	142	191	187	184	2493	2503	2513
	清	10	NE	滿5	1	3	124	184	184	182	2578	2578	2578
	清	40	W	滿8	10	3	150	189	184	183	2601	2598	2608
十二月 二十七日 平均	清	8	N	滿	10	9	119	184	179	179	2555	2535	2515
	清	15	N	滿5	9	9	89	170	162	160	2518	2536	2536
	清	125	N	滿	179	178	125	184	179	178	2549	2550	2550
二年 十一月 二十六日 二十五日 平均	清	70	SE	滿1	1	9	127	174	169	167	2531	2531	2531
	清	30	NW	滿9	10	2	127	160	165	165	2119	2437	2455
	清	24	N	滿8	10	2	130	165	163	163	2419	2485	2485
二年 十二月 二十四日 平均	清	23	NE	滿	1	1	104	173	172	170	2540	2570	2570
	清	118	E	滿	168	167	104	170	165	165	2547	2547	2547
	清	119	SE	滿	163	163	119	163	163	165	2505	2514	2518
同	清	107	N	滿8	10	2	163	163	163	165	2520	2540	2544
	清	144	W	滿5	3	3	163	165	166	166	2432	2447	2447
	清	145	SE	滿9	3	3	168	168	168	168	2489	2499	2049
同	清	129	NE	滿	164	165	129	164	165	165	2491	2507	2409
	清	142	W	滿2	3	3	160	164	164	166	2150	2432	2513
	清	155	E	滿9	0	1	162	164	164	164	2526	2546	2556
同	清	160	SE </td <td>滿4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>152</td> <td>163</td> <td>163</td> <td>165</td> <td>2410</td> <td>2500</td> <td>2520</td>	滿4	1	1	152	163	163	165	2410	2500	2520
	清	160	SE	滿	166	167	160	163	165	167	2322	2431	2449
	清	152	SE	滿2	166	166	160	164	166	166	2430	2433	2510

羅

風長

場所	月日	透明度	風量	風向	潮候	雲量	氣溫	水			濕			比		
								表面	中層	下層	表面	中層	下層	表面	中層	下層
東白桦郡 西浦村島野浦	四月一日	清	2	E	8	7	171	171	165	166	2574	2595	2614			
	四月六日	清	1	S	9	4	206	151	148	149	2562	2566	2600			
	四月十一日	清	1	S	6	5	225	188	189	192	2576	2593				
同	四月十六日	清	2	N	9	4	217	173	165	184	2595	2629				
	四月二十一日	清	1	S	2	7	220	198	194	188	2600	2596	2610			
	四月二十六日	清	1	S	2	4	212	176	172	176	2581	2596				
同	五月一日	清	5	E	10	5	230	196	194	193	2585	2583	2598			
	五月六日	清	5	S	7	5	235	174	175	175	2585	2583	2598			
	五月十一日	清	4	S	2	4	237	204	195	193	2585	2583	2598			
同	五月十六日	清	4	S	9	4	240	188	189	185	2585	2583	2598			
	五月二十一日	清	4	S	6	6	235	216	211	192	2525	2583	2598			
	五月二十五日	清	4	S	6	6	235	196	193	188	2552	2571	2583			
同	六月一日	清	7	S	10	7	244	209	189	187	2500	2583	2543			
	六月六日	清	5	E	4	5	242	214	209	206	2500	2571	2602			
	六月十一日	清	5	S	2	5	235	220	205	197	2508	2583	2606			
同	六月十六日	清	7	S	7	7	282	226	204	204	2505	2559	2595			
	六月二十一日	清	8	S	6	8	250	212	209	207	2506	2596	2606			
	六月二十六日	清	8	S	6	8	251	216	203	200	2504	2569	2590			
同	七月一日	清	7	E	8	7	278	228	208	207	2500	2544	2579			
	七月六日	清	5	E	6	5	271	227	224	210	2439	2483	2536			
	七月十一日	清	8	S	3	8	289	225	217	214	2510	2540	2604			
同	七月十六日	清	4	S	8	4	290	222	220	215	2483	2502	2632			
	七月二十一日	清	4	S	8	4	290	222	220	215	2483	2502	2632			
	七月二十六日	清	4	S	8	4	290	222	220	215	2483	2502	2632			

風長

場所	月日	透明度	風量	風向	潮候	雲量	氣溫	水			濕			比		
								表面	中層	下層	表面	中層	下層	表面	中層	下層
同	二十六日	濁	4	S	7	4	292	256	218	215	2462	2531	2604			
	二十七日	濁	2	E	9	5	283	254	240	238	2508	2511	2534			
	二十八日	濁	4	S	6	5	294	256	247	345	2515	2523	2561			
同	二十九日	濁	2	S	8	6	295	256	227	224	2472	2528	2564			
	三十日	濁	2	S	5	4	292	242	217	214	2454	2542	2564			
	三十一日	濁	4	S	7	4	286	276	259	257	2542	2542	2579			
同	八月一日	清	2	S	9	5	292	257	238	236	2498	2529	2566			
	八月六日	清	5	S	6	4	292	257	238	236	2498	2529	2566			
	八月十一日	清	4	S	6	5	294	256	247	345	2515	2523	2561			
同	八月十六日	清	2	S	8	6	295	256	227	224	2472	2528	2564			
	八月二十一日	清	2	S	5	4	292	242	217	214	2454	2542	2564			
	八月二十六日	清	4	S	7	4	286	276	259	257	2542	2542	2579			
同	八月三十一日	清	4	S	7	4	292	257	238	236	2498	2529	2566			
	九月一日	清	8	S	1	8	292	262	235	234	2555	2573	2576			
	九月六日	清	2	S	2	9	290	252	234	233	2529	2548	2564			
同	九月十一日	濁	4	S	1	5	288	253	240	238	2501	2504	2594			
	九月十六日	濁	3	E	2	4	290	256	229	226	2462	2531	2553			
	九月二十一日	濁	2	S	7	3	283	261	232	228	2470	2532	2566			
同	九月二十六日	濁	8	E	2	3	289	257	234	232	2503	2537	2577			
	十月一日	濁	2	S	10	6	292	242	240	240	2483	2490	2501			
	十月六日	濁	5	N	5	3	248	235	223	234	2512	2555	2575			
同	十月十一日	濁	2	E	7	6	238	230	226	227	2507	2518	2536			
	十月十六日	濁	2	E	8	5	202	225	219	220	2542	2505	2560			
	十月二十一日	濁	2	S	2	6	228	232	230	228	2502	2492	2494			
同	十月二十六日	濁	2	S	2	6	234	233	230	230	2509	2512	2533			
	十一月一日	濁	5	N	8	5	207	220	218	219	2485	2530	2541			
	十一月六日	濁	3	S	7	3	204	212	210	211	2556	2585	2591			
同	十一月十一日	濁	8	N	9	3	191	199	198	198	2498	2511	2540			
	十一月十六日	濁	3	S	2	4	184	195	190	189	2520	2524	2533			
	十一月二十一日	濁	4	S	2	4	184	195	190	189	2520	2524	2533			

風長

日平均	清	干	4	168	185	189	187	2548	2536	2586
二十六日平均	清	干 8	4	191	202	201	201	2528	2517	2552
十二日平均	清	干 7	4	181	184	187	186	2575	2560	2593
十一日平均	清	干 10	6	179	186	189	187	2591	2584	2596
十六日平均	清	干 6	10	159	187	187	186	2572	2584	2574
二十一日平均	清	干 5	7	151	174	178	173	2572	2584	2590
二十七日平均	清	干 5	6	147	177	179	176	2557	2577	2575
七、二十七日平均	清	干 2	6	163	182	184	182	2574	2576	2586
七、二十七日平均	清	干 6	6	124	169	168	167	2541	2541	2559
二十七日平均	清	干 8	7	163	167	169	168	2563	2547	2556
二十七日平均	清	干 8	10	130	162	167	163	2571	2552	2542
二十七日平均	清	干 2	7	90	156	157	150	2538	2590	2580
二十八日平均	清	干 8	6	102	156	156	157	2598	2598	2598
五、二十七日平均	清	干 7	7	122	162	163	161	2589	2578	2567
五、二十七日平均	清	干 2	7	89	153	153	154	2585	2584	2594
五、二十七日平均	清	干 7	6	147	153	156	155	2557	2566	2566
五、二十七日平均	清	干 9	5	134	154	155	155	2603	2611	2621
五、二十七日平均	清	干 7	7	80	148	148	149	2602	2592	2584
五、二十七日平均	清	干 8	7	74	152	153	153	2592	2563	2552
五、二十七日平均	清	干 8	2	105	153	154	153	2588	2583	2588
六、二十七日平均	清	干 8	7	174	146	164	147	2564	2587	2586
六、二十七日平均	清	干 8	3	164	155	156	156	2549	2537	2525
六、二十七日平均	清	干 8	5	187	165	164	164	2550	2550	2559
六、二十七日平均	清	干 8	2	191	164	164	165	2591	2612	2639
二十八日平均	清	干 5	1	184	166	164	165	2559	2532	2566
二十八日平均	清	干 5	1	186	159	159	159	2669	2564	2573

調査

二十八日平均	清	干	1	184	166	164	165	2559	2532	2566
二十八日平均	清	干 5	1	186	159	159	159	2669	2564	2573

二、海洋横断観測

試験船鵬丸ヲ使用シ毎月初メニ一回所定線上ヲ航シ其ノ航線上所定ノ位置ニ於テ表面十米二十五米五十米百米二百米三百米ノ各層ニ於ケル水温比重ヲ調査シ表面下二十五米間ニ於ケル浮ヲ採集シ且ツ氣温氣壓透明度水色流向流速風向風力量雲形天氣魚類ノ回游狀況等ヲ觀察セリ而シテ此ノ観測ヲ甲乙二種ニ分カチタルモ業務ノ都合ニ依リ欠測或ハ荒天ニ遭ヒ中途ニテ中止ノ止ムナキニ至リタルコトアリ

甲種

南那珂郡大島燈台ヲ基點トシ東一點北ノ方位ニ向ヒ航程百哩ノ直航線上ニ於テ八箇所ノ位置ニ就キ観測スルモノニシテ毎年一、三、四、六、七、九、十、十二月ノ各月一回月ノ初メニ施行ス

乙種

南那珂郡都井崎ヲ基點トシ東一點北ノ方位ニ向ヒ五十哩ノ点ニ至リ夫レヨリ針路ヲ北西ニ轉シ陸岸ニ接近シ距岸一哩ノ点ニ進ミ又針路ヲ正東ニ轉シ五十哩ヲ航シ之ヨリ更ニ針路ヲ北西ニ變シ東白杵郡北浦村烏帽子島東南一哩ノ沖迄M字形ニ航走シ此ノ間二十ヶ所ノ点ニ於テ観測スルモノニシテ毎年二、五、八、十一月ノ各月ニ一回月ノ初メニ施行ス

調査

本年度ニ於ケル海況ノ概要ヲ述フレバ左ノ如シ

四月一日甲種観測ヲ開始ス観測中天候險惡トナリシ爲メ基點大島鞍崎燈台ヨリ東一點北ノ方位五十哩間ニ止メタルガ此観測ノ結果ニ依レバ水温、概シテ前月ニ比シ上昇セリ即距岸一哩ノ表面ハ前月ト同温ニシテ一七、四度ヲ示セリト雖之ヨリ沖合ニ進ムニ從ヒテ次第ニ上昇シ距岸二十沖ノ表面ニ於テハ一九、七度トナリ

更ニ五十漚ニ於テ二一、一度ヲ示セリ而シテ最高ハ三十漚ノ表面二一、五度ニシテ最低ハ二十漚ノ水深三百米ノ處ニ一三、二度ヲ表セリ次ニ比重ヲ見ルニ前月ノ濃厚ナル海水ハ幾分淡ラキテ距岸八漚以内並ニ二十漚ノ二百米以深ハ一、〇二六〇〇以下トナリ其ノ他ノ處モ一、〇二六〇〇ヲ出ルコト僅ニシテ唯二十漚ヨリ四十漚ノ十米乃至五十米層二一、〇二六二〇ノ高比重ヲ示シ最高ハ三十漚ノ二十五米乃至五十米層ニ一、〇二六三三ヲ示シ最低ハ一漚ノ表面ニ於テ、一〇二五七五ヲ示セリ暖流ハ沿岸ニ接近シテ流速急ナリ經ハ二三十漚ノ處ニ回游シ來レリ

調

五月乙種横斷觀測六月甲種横斷觀測並ニ七月甲種横斷觀測ハ業務ノ都合ニ依リ欠測セリ
八月七日都井崎ノ東一漚ノ基点ヨリM字形ニ航走シ九日二百漚ノ乙種觀測ヲ終了セリ其結果ニ依レバ水温ハ前年同月ニ比シテ高ク即チ表面ニ於テハ都井崎距岸一漚ノ点ニ於テ二六、二度ヲ示シ十漚ニシテ二八、五度五十漚ニシテ二九、〇度ニ達シ再ヒ北西ニ進ミ陸岸ニ接近スルニ從ヒ下降シ川南ノ五漚沖合ハ二四、〇度ヲ示シ尙此ノ沖合二十漚ヨリ五十漚間ハ二八、七度乃至二八、九度ニシテ割合ニ變化少シ次ニ其ノ垂直的分布ヲ見ルニ暖水滯ハ深キ處ニ及ビ都井崎沖ノ二十漚並ニ五十漚及川南ノ東北東沖合二十漚及五十漚ノ點ニシテ三百米ノ下層迄二〇、〇度ノ等温線突入セリ最高部ハ都井崎五十漚ノ表面二九、〇度最低ハ島野浦ト沖ノ島ノ中間ノ三百米層ニシテ一三、三度ヲ示セリ而シテ距岸十漚迄ハ沿岸水ニシテ夜光虫多量ニ出現シ所々ニ水面ノ赤色滯ヲ認メタリ次ニ比重ハ都井崎沖十漚ノ水深二百米川南沖十漚ノ水深百米ノ處ニ僅ニ一、〇二五五〇ヲ示セルノミニシテ一、〇二五二〇ノ等比重線ハ都井崎三十漚沖ノ處ニアリテハ二百八十米川南二十漚沖ニアリテハ三百米迄達セシモ北部ニ於テハ五十米乃至百米層ヲ通レリ水色一般ニ清澄ニシテ透明度ハ都井崎沖五漚ニ於テ二十一米二十漚ニアリテハ二十六米川南ノ東北東二三十漚ノ處ハ二十七米ニ達セリ海潮流ハ距岸一漚迄ハ下リ潮ナレ共次第ニ上リ潮ニ變リ海流ハ都井崎十漚沖ヲ過リ川南沖二十漚ヨリ東北東ニ向ヒ足摺崎ニ向ケテ流レ一漚ノ流速ヲ有セリ

查

調

九月甲種海洋横斷觀測ハ業務ノ都合ニ依リ欠測セリ
十月三日南那珂郡大島鞍崎燈台ノ東一漚ノ基点ヨリ東一點北ノ方位五十漚ノ甲種横斷觀測ノ結果ニ依レバ數日前ヨリ西北風連吹ノ爲氣温低下シ平均一九、七度ニシテ前年同月ノ二一、〇度ニ比シ一、三度低シ然ルニ水温ハ表面平均二四、九度ニシテ前年同月ノ二五、四度ニ比シ〇、五度低ク水温ノ最高ノ處ハ三十漚並ニ五十漚ノ水深十米ノ所ニシテ二五、八度ヲ示シ最低ノ處ハ二十漚及五十漚ノ水深三百米ノ處ニ一六、三度ヲ示セリ次ニ分布ヲ見ルニ表面ノ二五、〇度以上ノ區域ハ十六漚ヨリ四十五漚間ニシテ其ノ他ハ之ニ達セス前年同月ヨリ上層冷クシテ下層温キハ氣温ノ急ニ降下セルニ依ルナルベシ比重ハ表面平均一、〇二五一一ニシテ前年同月ノ一、〇二五二〇ニ比シ〇、〇〇〇九低ク最高ハ三十漚ノ水深百米並ニ二百米ノ處ニ於テ一〇二五五〇ヲ表ハシ最低ハ五十漚ノ表面ニ於テ一、〇二四九〇ヲ示セリ透明度ニ於テハ距岸十漚迄ハ十七米此ヨリ沖合ハ二十四米ニ達シ海潮ハ一漚ノ所ハ下リ潮ニシテ五漚沖ヨリ上リ潮ニ變リシモ緩ニシテ二十漚ヨリ急速トナレリ故ニ黒潮ハ三四十漚附近ヲ北上スルモノト認メタリ
十一月四日都井崎ヨリ東へ五十漚ヲ航シ之ヨリ北西ニ轉航シテ小丸川口ニ達シタル乙種海洋觀測ノ結果ニ依レバ水温ハ表面平均二三、二度ニシテ前年同月ノ二二、七度ニ比シ〇、四度高シ水深三百米層ハ平均一六、四度ニシテ前年同月ノ一四、九度ニ比シ一、五度高ク最高ハ都井崎三十漚及五十漚ノ表面ニ於テ二四、五度最低ハ都井崎二十漚ノ水深三百米ノ所ニ、一三二度ヲ示セリ而シテ二四、〇度ノ等温線ハ都井崎沖二十漚ヨリ五十漚ノ水深二十五米迄ノ域ヲ占ムルモ小丸川口ノ附近ハ概シテ水温低下セリ比重ハ都井崎沖十漚ノ所ニ水深五十米ノ處迄並ニ小丸川口ノ南東十漚ノ所迄ハ一、〇二五五〇以下ヲ示シ其他ノ處ハ高比重ニシテ沖合ニ進ムニ從ツテ概シテ上昇シ最高ハ都井崎沖五十漚ノ水深百米ノ所ニ一、〇二五九一ヲ示セリ以上ニヨリ暖流ハ距岸三十漚ヨリ五十漚ヲ北上スルモノト認メタリ
十二月四日大島鞍崎燈台ヨリ七十五漚ノ沖合ニ至ル甲種横斷觀測ノ結果ニ依レバ海上氣温ノ平均一三、九

查

調

査

度ヲ示シ水温ハ表面平均二二、一度ニシテ前年同月ノ二一、四度ニ比シ〇、七度高シ尙今年ハ三十湮乃至、五十湮ノ水深二十五米ヨリ百米層ニ至ル間ハ表面ヨリモ高水温ニシテ三十湮ノ水深二十五米乃至五十米層ニ最高水温、二三、四度ヲ表セリ最低水温ハ二十湮ノ水深三百米ノ處ニ一六、二度ヲ現セリ比重ハ表面平均一、〇二五七七ニシテ前年同月ノ一、〇二五八五ニ比シ〇、〇〇〇八低シ高比重滯ハ十五湮ヨリ三十湮ノ表面ヨリ五十米層ニ至ル間五十湮ノ表面七十五湮ノ五十米層ノ所ニ散在シ最高ハ七十五湮ノ五十米層ニ一、〇二六二八ヲ現シ最低ハ一湮ノ表面ニ一、〇二五五七ヲ示セリ距岸二湮マテハ下リ地潮ヲ認メタルモ三湮ヨリ大潮目ヲ爲シ上リ潮トナリ濁水ハ次第ニ清澄シ五湮ニ至リテ透明度ハ二十三米迄ニ及ビ三十湮及五十湮ハ二十七米乃至二十九米ニシテ一時間ニ湮半餘ノ上リ急潮ヲ認メ黒潮ハ三十湮一帯ヲ北上セリ

一月九日大島鞍崎燈台ヨリ五十湮ノ沖合ニ至ル甲種横斷観測ノ結果ニ依レバ海上气温ノ平均一、六度ヲ示シ水温ハ表面平均一九、八度ニシテ前年同月ノ一八、五度ニ比シ一、三度高シ水温ノ最高ハ三十湮ノ表面ニ一、六度最低ハ二十湮水深三百米ノ一六、三度ニシテ一八度ノ等温線ハ距岸二湮ノ所ヨリ急勾配ヲ以テ深部ニ達シ三十湮ノ所ニテハ三百米ノ所ニ達セリ比重ハ表面平均一、〇二五五三ニシテ前年同月ノ一、〇二五五一ニ比シ〇、〇〇〇二高ク概シテ大差ナシ最高ハ二十湮ノ水深百米ノ處ニ一、〇二五六九ニシテ最低ハ一湮ノ二十五米ノ處ニ一、〇二五三一ヲ示シ高比重滯ハ二十湮ノ百米乃至二百米層及三十湮五十湮ノ表面ヨリ五十米間ニ出現セリ六日夜來ノ暴風雨ノ爲メニ沿岸ノ海水ハ濁リ距岸一湮ニテ透明度十二米ナリシモ上リ潮急速ノ爲メ五湮急ニヨリ清澄トナリ二十五米ニ達シ此ヨリ沖合ハ次第ニ増加シ二十湮三十湮ハ二十八米ニ達シ暖流主流ハ二十湮ヨリ四十湮間ヲ北上セルモノト推定セリ

二月九日乙種観測ノ都井崎基點ヨリ開始セシガ高浪ノ爲百湮迄ノ観測ヲ了シ中止セリ此ノ結果ニ依レバ水温ハ前年同月ニ比シ低ク表面ハ平均一八、〇度前月表面平均一九、八度ニ比シ一、八度降下シ最高ハ小丸川口ノ東南三十湮ノ水深十湮乃至二十五湮ノ處ニ一八、六度ヲ示シ最低ハ同所ノ水深三百米ノ所ヲ一三、一度

調

査

ヲ示セリ比重ハ前年同月ニ比シ低ク一、〇二六〇〇ニ達スル所ナク前月ニ比スレバ稍高ク特ニ距岸十湮乃至二十湮ノ表面ヨリ百米間ニ高比重ノ擴撒セルヲ認ム最高ハ小丸川口東五湮ノ表面乃至十米ノ域ニ一、〇二五九四ニシテ最低ハ、小丸川口ノ東南五十湮ノ水深三百米ノ所並ニ小丸川口ノ表面ニ一、〇二五四四ヲ示セリ

三月五日甲種観測ノ基點大島鞍崎燈台ヨリ開始シ同日高浪ノ爲メ五十湮迄ノ観測ヲ了シ中止セリ此ノ結果ニ依レハ水温ハ前年同月ニ比シ一般ニ低ク表面平均ハ一六、九度ナルニ前年同月ノ一八、六度ニ比シ一、七度降下セリ當時ハ沖合ニ至ルマテ一七、〇度ニシテ例年ニ無キ寒潮ナリ最高ハ五十湮ノ沖合ノ表面ヨリ二十五米間ニ到ル迄一七、九度ニシテ最低ハ同所ノ三百米ノ處ニ一、〇二六〇〇ニ達スル所ハ十湮ノ百米ヨリ二百米並ニ二十湮ノ表面ヨリ二十五米間ニ到ル域ニシテ最高ハ十湮ノ二百米ノ所ニ一、〇二六一ニシテ最低ハ二十湮ノ三百米ノ所ニ一、〇二五〇四ヲ示セリ

横断観測表

月日	時分	場所	水						比								
			表面	10米	25米	50米	100米	200米	表面	10米	25米	50米	100米	200米	300米		
四月	11-0	1湮	190	174	178	175	164	155	151	132	2575	2575	2581	2587	2597	2603	2591
	11-50	5	190	181	174	170	164	155	151	132	2590	2593	2597	2590	2597	2603	2591
	12-50	10	203	188	176	170	168	161	151	132	2607	2600	2603	2603	2603	2603	2603
	14-25	20	210	197	194	190	187	172	160	132	2621	2611	2619	2619	2619	2599	2603
	16-15	30	200	215	211	206	199	190	178	149	2613	2627	2633	2633	2615	2617	2603
平均	19-40	50	180	211	211	211	210	205	187	168	2615	2623	2611	2611	2611	2621	2621
	平均		195	194	191	187	182	177	169	150	2604	2605	2607	2607	2609	2610	2605

三、浮游生物

沿岸コ於ケル分布

四ヶ所ノ定置観測點ニ於テ毎月數回ノ観測ノ際採集セシメタルモノヲ七パーセントノホルマリン溶液ニテ處理セシメテ本場ニ送ラセ到着ノ上一晝夜沈澱セシメテ定量シ後七十パーセントノアルコール溶液ヲ以テホルマリン溶液ト入換ヘ後檢鏡セリ此ノ結果左ノ如シ

宮ノ浦ハ比較的少量ニシテ且ツ動物性ニ富ミ四月最多量ニシテ平均一、九立方糎ヲ占メ七月稍減シタルモ八月再増加シ九月、十月減少シ十一月一時増加セシモ十二月急ニ減シ一、二三月ト次第ニ増加セリ動物性トシテハ春夏夜光虫。おいぞうな。あつぺんできらりあ。夏秋からなあす。こりしゆうす。秋ニハひろしすてすちゆうたニシテ周年ニせらちゆうむまくろせらすアリ植物性ニハ春ゆうかんばんや春並ニ冬ニアリテきいませらす冬ハすけれまねまあ現レ亦リぞそれにあハ周年認メタリ

内海ハ四月最多量ニシテ平均二、八立方糎ナレ共五月減少シ六七月ト稍増加シタレ共九月ニ至リテ最少量ニ達シ〇、四立方糎ニシテ十月ヨリ次第ニ増加シ十一月一、〇立方糎トナリシモ亦十二月減少シ一月再一時増加セシモ二三月ハ亦減少セリ動物性ニハ春せらちゆうむふゆうさす。したろしらす。春夏ニこりしゆうす。みくろせてらあ。むいぞうな春夏秋ニひろしすてすちゆうた秋あつぺんできらりあ周年ニ渡ツテからあなあす夜光虫せらちゆうむまくろせらす現レ植物性ニハ春ばくてりやすさるむ春夏冬ニきいませらす。すけれまねまあ。周年ニりぞそれにあ。でてりゆうむ。ゆうかんばんあヲ認メタリ。

細島ハ量ニ於テハ四月最多ク平均四、一立方糎ニシテ五月急ニ減少シ僅ニ〇、四立方糎トナレ共六月ヨリ次第ニ増加シ七月三、九立方糎ニ達シタレ共亦次第ニ減シ九月最少量ノ〇、三立方糎ニシテ引續キ少量ニシテ一立方糎ニ達セス十二月ヨリ次第ニ増加シ一月再増加セシモ、三、五立方糎ヲ示メタレ共三月ニ至リ亦減

調

査

少セリ動物性ニハ春夏ニあつぺんできゆらりあ。夏太陽虫ひろしすてすちゆうた夏秋ニおいそな秋ペリでにゆらむ春秋ニみくろせてらあ。周年ニこりしゆうす。からなあす。夜光虫せらちゆうむまくろせらす。ヲ認メ植物性ニハ春こしのですかす。したろしらす。春夏ニばくてりあすさらたむ。夏あすてりおねらあ。ばしらりあ。春夏冬ニゆうかんばんあ。きいませらす。りぞそれにあ。冬これそうん。でてりゆうむ。ぶらんくこにえらあ。出現セリ

島野浦ハ採集量少ク内四月最少ク平均〇、一四立方糎ニシテ六月最多ク〇、六二立方糎ヲ占メ八九月稍減シ十二月ニハ尙減シ〇、三立方糎ニシテ一月ヨリ次第ニ増加シ二月〇、五八立方糎トナリタレ共再減少セリ動物性ニハ春夏冬夜光虫夏おいぞうな夏秋冬せらちゆうむまくろせらす、秋せらちゆうむふゆうさす。したろしらす。ひろしすてすちゆうた秋冬あつぺんできゆらりあ。周年ニ渡リテこりしゆうす。からなあす。みくろせてらあ。ペリでにゆうむヲ認メ植物性ニハ春ばくてりあすさるむ夏冬ゆうかんばんあ秋さらしをしりつくす秋冬ニさらしをしらあ周年ニきいませらす。りぞそれにあ。すけれまねまあ出現セリ

沖合ニ於ケル分布

毎月横斷観測中各観測定點ニテ採集シタルモノヲ七パーセントノホルマリン溶液ニ浸シテ持チ歸リテメスシリンドーニ入レ一晝夜放置シテ沈澱セシメ其ノ量ヲ測リタル後此ニ七十パーセントノアルコールト入レ換テ檢鏡シテ分類ス一般ニ沿岸ハ浮游生物ノ量多ク且ツ植物性ニ富ミ沖合ニ進ムニツレテ動物性増加シ三十哩迄ハ植物性ヲ認ムレ共五十哩ニ達スル時ハ動物性ノミトナリ其ノ量亦少シ植物性ハ沿岸水滯ニ棲息シ海流距岸遠ク亦緩ナル時並ニ河水ノ注入多キ季節ニ増殖セリ各月ニ渡リ南部距岸五十哩間ヲ比較スルニ四月稍多量ニシテ平均二、二立方糎ヲ算シ五月ハ稍減シ十一月ニ至リ急ニ増加シ最多量トナリ三、五立方糎ニ達シタルモ十二月ニハ急ニ減シ最少量トナリ〇、八立方糎ヲ算セリ一月一時、稍増加セシモ二三月ハ次第ニ減シ一〇立方糎ヲ占タリ最多量ハ十一月四日都井崎十哩沖ニ於テ八、二立方糎ヲ占メ最少量ハ一月九日並ニ三月

調

査

五日大島沖二十哩ノ處ニテ〇、二立方糎ヲ示セリ動物性ニハ八月島野浦沖合ニテ矢虫高鍋沖十哩ノ處ニテみすしチ認メみくろせてらあハ八十一月ニからなす。こりしゆうす。あつべんできゆらりあひろしすすすちゆうたハ周年ニ渡リテ出現シ夜光虫せらちゆうなむくろせらすハ十二月、一月ヲノゾクノ各月ニ現レ特ニ八月七日夜光虫ハ都井崎一哩小丸川口ヨリ十哩ノ沖合島野浦ノ十哩沖合迄ノ沿岸ニ多量ニ出現セリ八月八日小丸川口沖二十哩ノ處せらちゆうなむくろせらすヲ認メ大陽虫ベリでにゆうむハ八月十一月ニ多量ニ現レ放散虫ハ八月ニ出現セリ植物性ノすけれこねまあハ四八十一月二月ゆうかんびあハ四十一一二三月でてりゆうむハ四十一二月さらしをしりつくすハ十一月さらしをしらあハ十一二月ニきいせらす。りぞそれにあハ周年ニ渡リテ出現セリ

四、漁況調査

從來ノ事業ヲ繼承シ福島外浦榮松目井津大堂津内海折生迫川南細島門川七々呂方財島島野浦市振ノ十箇所ニ調査員ヲ囑託シ毎旬ノ漁獲物ノ種類數量金額等ヲ調査シ重要漁業ノ盛衰魚族ノ回游分布ノ状態ヲ察知シ海洋観測ト相關聯シテ漁業消長ニ關スル原因ノ研究資料トシ或ハ當業者ノ事業計畫上ノ參考ニ供セントス

本年度中ニ於ケル縣下主要漁業ノ消長ニ就キ概要ヲ叙述スレバ左ノ如シ
經、三月中旬ヨリ漁期ニ入り目井津ニ於テハ十八日一五九貫ノ初漁アリ亦二十五日三八九貫ノ水揚ヲナセリ
油津二十二日四二貫六十九尾三十日一、〇〇三貫一千六百二十六尾ノ漁獲アリ一尾六百十尾廻ナリ大堂津ニ於テハ三十一日七〇三貫一千八百八尾ノ水揚アリ一尾平均六百三十四尾廻ナリ漁場ハ都井崎ノ東沖合三十三哩乃至内海ノ沖合四十哩ノ所ニシテ漁場ハ漸次沿岸ニ接近セリ
四月上旬漁場益々沿岸ニ接近シ都井油津内海ノ距岸二十哩ノ處一帶トナリ一尾一貫餘ノモノナリ中旬漁場

調

査

ハ次第ニ宮崎沖合ニ延ヒ増々好漁ニシテ一尾一貫二三尾廻ノ大型モノ多シ下旬一時漁事アリシガ二十八日ヨリ西風強ク氣温並ニ表面水温一時低下セシ爲メ餌付悪シク不漁ニ落入リ一尾八百尾乃至一貫百尾廻ナリ總揚量五四、八一貫ニ達セリ
五月上旬ハ漁獲多キモ尙好漁ノ域ニ達セス一貫五百尾乃至七百尾廻ナリ、中旬盛漁ニシテ魚群ハ沿岸ニ接近シ距岸五哩ニ及ビ而カモ大群多カリシモ稍餌付悪シク一群ニテ二三百尾ノ釣獲ニ過キス一尾五百尾廻ナリ下旬前旬ト全シク回游多キモ餌付不良ニシテ漁場ハ北ニ延ビ細島ノ沖合迄達セリ一尾五百尾餘廻ナリ總揚量九四、〇八四貫ニ達シタリ
六月上旬ハ海流一時停滞シ餌付悪シク不漁トナリ一尾四百尾廻ナリ中旬尙好漁ノ域ニ達セス下旬稍好漁ニ向ヒシモ尙一般ニ魚群少ク漁場轉々トシテ一定セス大部分ノ機船ハ不漁ナレ共南部機船ハ都井崎沖合ノ礁付ヲ釣リ一隻ニテ千尾内外ニシテ總揚量五九、七二九貫ニ達セリ
七月上旬縣下沖合十四五哩ヲ漁場トシテ出漁シ相當漁事アリ中旬魚群ノ回游薄ク當業者間ニハ休漁スルモノモアリタレ共油津南郷方面ノ機船ハ鹿兒島縣下ノ種子ケ島屋久島ノ礁付經釣ニ出漁セリ下旬ハ種子ケ島方面ニ出漁セル南部機船ハ尙相當漁事アリテ總揚量四三、八一六貫ニ減シタリ
八月上旬ハ種子ケ島方面尙漁事アリ北部地方ハ不漁ナリ中旬南部機船遂ニ不漁ニ陥リ北部僅ニ細島ニ漁事アリ下旬南部不漁ニシテ北部細島稍漁事アリ
九月上旬秋經ノ時節トナリタレ共魚群少ク幸ニモ群ニ遭遇スレ共二三百尾ヲ釣取ルニ過ス中旬不漁ニシテ繫船多シ下旬稍回復シタレ共大型機船ハ結延繩ノ準備ヲ爲スモノ多シ
十月上旬中旬不漁ニシテ下旬終漁セリ
五月ハ鯉群ニ混游ノ鮪子ニシテ一尾九百尾乃至五百尾廻ノモノノ漁事アリ
六月南部ハ鯉ノ群ニ混游ノ一尾四百五十尾ノ鮪子ニシテ水揚少ク北部ハ延繩ニテきはだノ漁事アリ

七月南部不漁ニシテ北部ハきはだノ回游少ク總水揚量三、四七六貫ニ達セリ
 十月下旬ヨリ漁期ニ入り魚種ハめばち。きはだナレ共尙好漁ニ達セス且東北地方大漁ノ爲市價廉ニシテ他
 縣ノ鮪繩船油津ニ集合シツツアリ
 十一月上旬稍好漁ニ向ヒ中旬好漁トナリ漁場ハ距岸二三十哩ノ沖合ヲ漁場トセシモ下旬不漁トナリタリ總
 揚量二三、八二九貫ニ達セリ
 十二月上旬不漁ニシテ中旬尙引續キ不漁下旬二十五日頃ヨリ鹿兒島縣下種子ケ島漁場ヲテ活況ヲ呈シ一航
 海ニ四五十貫ノ黒鮪ヲ十尾乃至十五尾漁獲シ益々盛漁トナリ漁場モ次第ニ北上シツツアリ黒鮪八割めばち
 きはだ其他二割ヲ占メ總揚量二三、四四七貫ニ達セリ
 一月上旬ハ引續キ益々好漁ニシテ漁場ハ種子ケ島ノ東十哩ヨリ都井崎沖合三十哩ノ所ニシテ五十貫乃至八
 十貫ノくろ鮪ノ回游多ク魚價最低十貫九圓ニ迄下落セリ中旬回游益々多ク盛漁期ニ達シ油津港ハ他縣ヨリ
 ノ入漁船甚多シ下旬不漁トナリタリ油津八九、二八九貫ノ水揚ニ達シ亦總揚量一三八、六二六貫ノ水揚ア
 リ
 二月上旬ハ不漁ニシテ出漁船二三隻ニ止リ鱈多ク鮪極テ少シ中旬下旬引續キ不漁ナリ
 三月上旬尙不漁中旬ノ末稍漁事アリ下旬ノ初メ稍漁事アリシモ亦再不漁ニ陥リ終漁セリ
 四月下旬ヨリ漁期ニ入り
 五月南部油津方面北部土々呂方面ニテ曳繩或ハ旋網ニテ漁事アリ總揚量一七、一五六貫ニ達セリ
 六月ハ同様ニ南部ハ曳繩北部ハ旋網ニテ漁事アリ總揚量一〇、三九八貫ヲ示セリ
 七月南部ハ曳繩ヲ使用スレ共不漁ニシテ北部ハ露濱ニ付テナシ旋網ヲ使用シ漁獲ス中旬稍好漁ナレドモ下
 旬不漁ニ陥リタリ總揚量五、〇四六貫ニ達セリ
 八月上旬稍漁事アリ中旬不漁ニシテ下旬稍好漁ニ向ヒ總揚量四、〇一八貫ヲ示セリ

九月縣下一帶曳繩釣ヲ以テ漁獲ス上中旬共ニ不漁下旬稍漁事アリ總揚量五、〇六一貫ニ及ベリ
 十月上旬不漁中旬次第ニ漁場南部ニ及ビ下旬稍漁事アリ總量四、五四〇貫ノ水揚アリ
 十一月上旬南部ニ稍漁事アリ中旬不漁ニシテ下旬終漁セリ
 五月北部地方焚込網ヲ使用シ漁事アリ鱈餌料並ニ煮乾ヲ製セリ
 九月中旬北部漁期ニ入り一尾十匁乃至十五匁廻ノモノニシテ豊漁シ總揚量三〇、七〇二貫ニ達セリ
 十月上旬北部地方好漁ニシテ十五匁乃至三十匁ノモノニシテ中旬不漁下旬再好漁ナリ特ニ土々呂方面ハ脊
 黒鮪ノ盛漁ノ爲メ煮乾ヲ製造セリ總揚量一一三、九四〇貫達セリ
 十一月上旬うるめノ棒受網ノ漁期ニ入り漁場ハ北部島野浦ノ十哩沖トシ例年ノ漁場ヨリモ近シ一尾ノ大サ
 六七寸ノモノナリ中旬好漁ニシテ時ニ室簾ヲ混ス下旬一時不漁ニ陥リタレ共總揚量一〇四、〇八七貫ニ達
 セリ
 十二月上旬稍好漁ニシテ夜焚込網棒受網刺網ヲ使用セリ中旬下旬ハ刺網小台網ニテ漁事アリ總揚量一五、
 六七九貫ニ減シタリ
 一月大羽鱸ノ漁期ニ入り門川八、六七三貫ノ水揚アリ
 二月尙刺網ヲ使用シテ門川七、二九四貫ノ水揚アリ
 三月門川三二、〇四六貫土々呂七、二七九貫ノ水揚アリテ大羽鱸モ終漁セリ
 いか、十一月上旬ヨリするめいかノ漁期ニ入り中旬一時好漁ナレ共十六七日頃不漁トナリ下旬再び好漁トナ
 リ北部中部地方ノ距岸一哩ノ所ニシテ總揚量五六、三一九貫ノ水揚アリ
 十二月するめいか上旬好漁ニシテ中旬下旬薄漁トナリ總揚量八六、五二四貫ノ水揚アリ
 一月上旬するめいか一般ニ薄漁ニシテ甲いか好漁ナリ中旬稍減シタルモ下旬再漁事アリ
 二月するめいか甲いか共ニ不漁ニシテ旬稍漁事アリ下旬不漁ニシテ終漁セリ

はも、四月漁期ニ入り

五月上旬南部有明灣油津地方好漁ニシテ中旬盛漁ニ達シ下旬稍薄漁トナリタレ共總揚量六、七二一貫ノ水揚アリ

六月上旬南部地方好漁ニシテ中下旬不漁ナリ總揚量四、四九一貫ノ水揚アリ

七月上旬ニ比シ不漁ニシテ縣下ヲ通シテ一、四九八貫ノ水揚アリ

八月上旬南部ニ一時漁事アリ中旬不漁下旬終漁セリ

飛魚、九月上旬ヨリ南部地方ハ魚期ニ入りタレ共上旬水揚少ク中旬稍好漁ニシテ下旬ニ至リテ尙好漁ニシテ

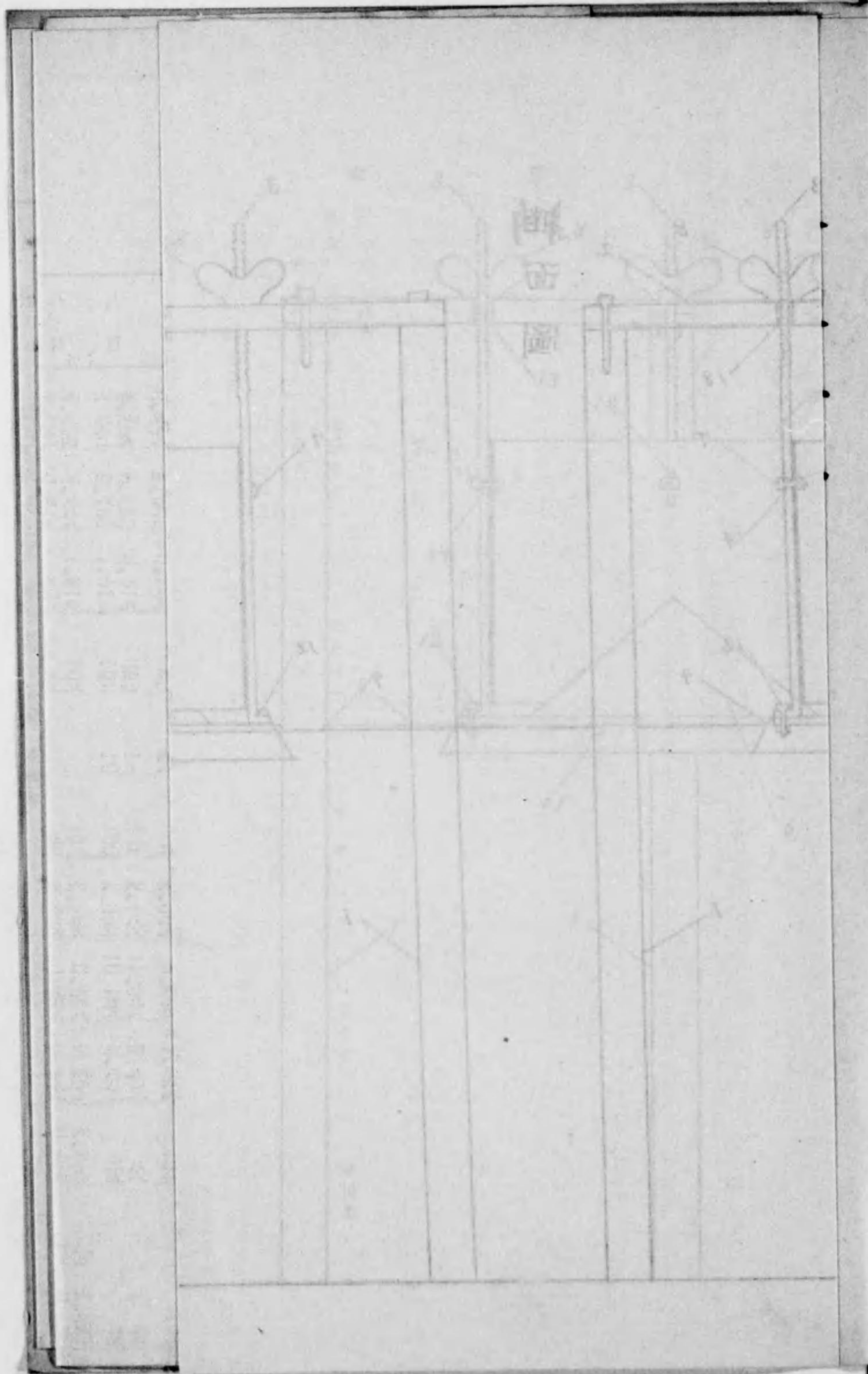
油津ノ出漁船多シ總揚量三、一六三貫ニ達セリ

十月上旬ヨリ中部南部地方好漁トナリ中旬盛漁ニシテ下旬稍減シタルモ總揚量七、四四四貫ニ達セリ

十二月上旬尙漁事アレ共中旬ニ至リテ終漁セリ

調査

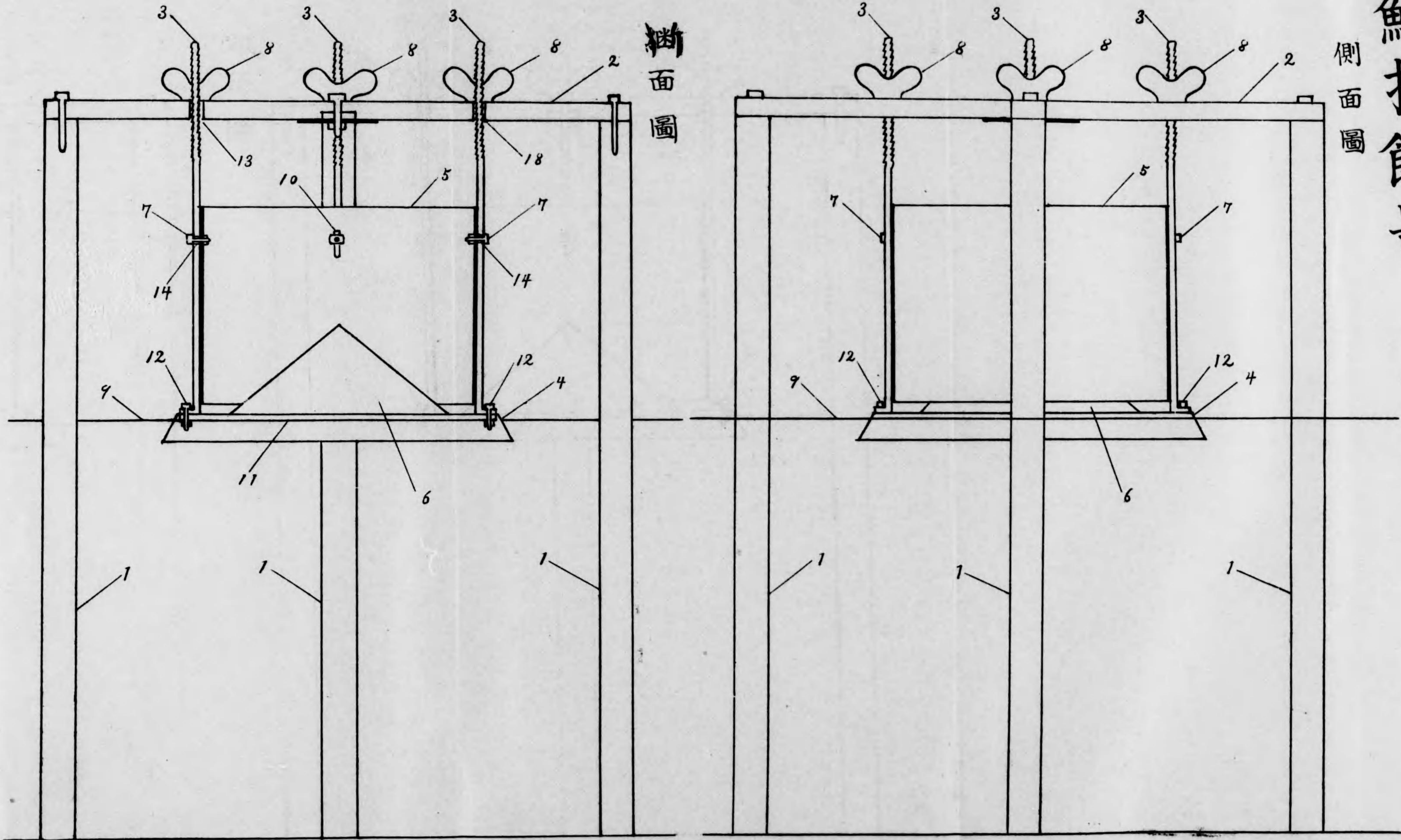
（Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page)



鰻投餌器

側面圖

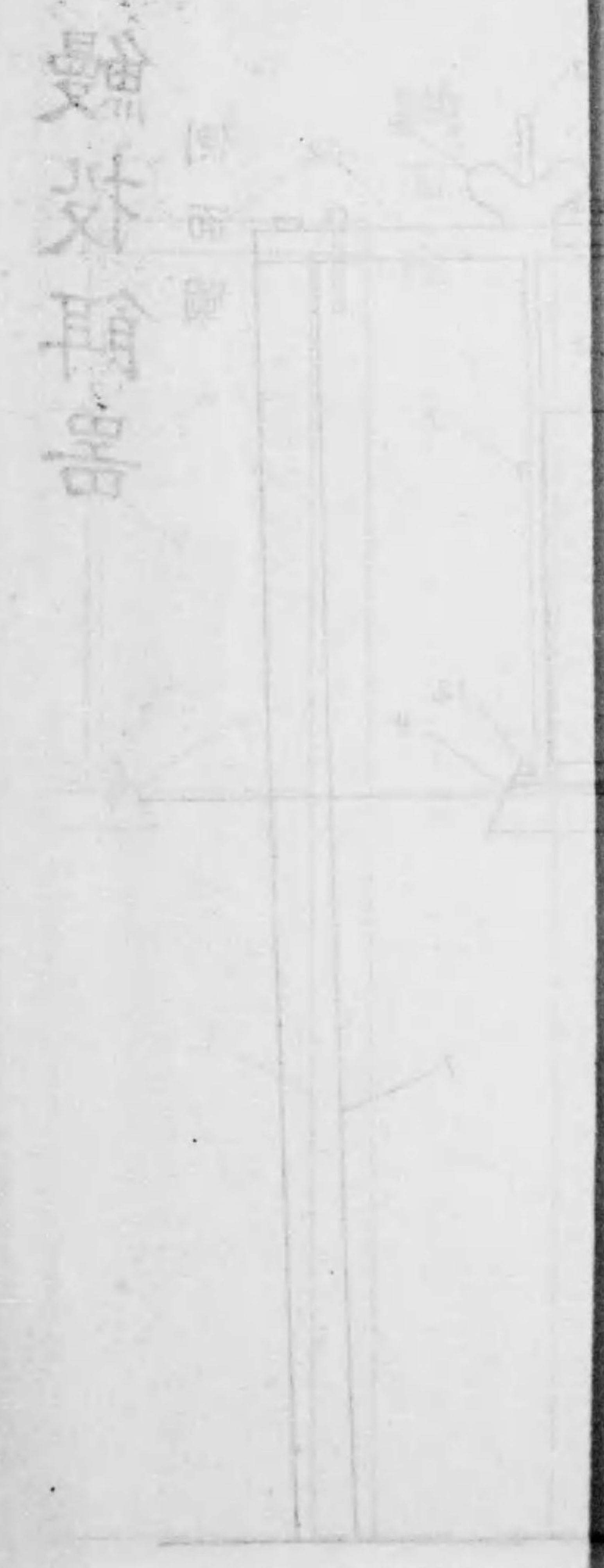
斷面圖



第一表 大正十五年 月別 漁獲高

増比 減較	全前 月分年 計	十二月 十一月 十月 九月 八月 七月 六月 五月 四月 三月 二月 一月																					
二、四八八	二、二七〇	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八	二、四八八
△四、八三六	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三	△三、四三三
△三、九四一	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇	△三、一九〇
△六、二八九	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三	△四、三三三
△二、八八八	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇	△三、二七〇

註 (一)各欄共右ハ重量左ハ金額ヲ示ス
 (二)重量ハ貫金額ハ圓ヲ單位トシ以下四捨五入トス
 (三)△符ヲ付セルハ減其他ハ増加ヲ示ス



第二表 主要漁獲物ノ前年トノ比較

魚種	數量比較		金額比較	
	本年	前年	本年	前年
鯛	本年	九,二七〇	本年	二,〇〇六
	前年	三,二七二	前年	七,〇九七
	増減	五,九九八	増減	△二,九〇九
	一月	三,〇七〇	一月	四,九八八
	二月	三,九七一	二月	二,〇一八
	三月	一〇,〇七〇	三月	五,〇二二
	四月	七,一九二	四月	一〇,一三四
	五月	七,三九二	五月	三,九九三
	六月	二,七〇六	六月	七,九九九
	七月	九,三八七	七月	二,一五七
	八月	二,七四〇	八月	二,二二八
	九月	二,四三二	九月	一,一〇〇
十月	四,〇五〇	十月	一,七〇〇	
十一月	六,五〇〇	十一月	二,〇〇〇	
十二月	四,〇五〇	十二月	三,四四五	
鯨	本年	二,〇〇〇	本年	一,一〇〇
	前年	三,〇六五	前年	一,三〇〇
	増減	九八五	増減	△二〇〇
	一月	三,〇六五	一月	一,一〇〇
	二月	二,九四〇	二月	一,〇〇〇
	三月	二,七三二	三月	一,〇〇〇
	四月	二,二二二	四月	一,〇〇〇
	五月	二,二二二	五月	一,〇〇〇
	六月	二,二二二	六月	一,〇〇〇
	七月	二,二二二	七月	一,〇〇〇
	八月	二,二二二	八月	一,〇〇〇
	九月	二,二二二	九月	一,〇〇〇
十月	二,二二二	十月	一,〇〇〇	
十一月	二,二二二	十一月	一,〇〇〇	
十二月	二,二二二	十二月	一,〇〇〇	
鱈	本年	二,〇〇〇	本年	一,一〇〇
	前年	三,〇六五	前年	一,三〇〇
	増減	九八五	増減	△二〇〇
	一月	三,〇六五	一月	一,一〇〇
	二月	二,九四〇	二月	一,〇〇〇
	三月	二,七三二	三月	一,〇〇〇
	四月	二,二二二	四月	一,〇〇〇
	五月	二,二二二	五月	一,〇〇〇
	六月	二,二二二	六月	一,〇〇〇
	七月	二,二二二	七月	一,〇〇〇
	八月	二,二二二	八月	一,〇〇〇
	九月	二,二二二	九月	一,〇〇〇
十月	二,二二二	十月	一,〇〇〇	
十一月	二,二二二	十一月	一,〇〇〇	
十二月	二,二二二	十二月	一,〇〇〇	
鰯	本年	二,〇〇〇	本年	一,一〇〇
	前年	三,〇六五	前年	一,三〇〇
	増減	九八五	増減	△二〇〇
	一月	三,〇六五	一月	一,一〇〇
	二月	二,九四〇	二月	一,〇〇〇
	三月	二,七三二	三月	一,〇〇〇
	四月	二,二二二	四月	一,〇〇〇
	五月	二,二二二	五月	一,〇〇〇
	六月	二,二二二	六月	一,〇〇〇
	七月	二,二二二	七月	一,〇〇〇
	八月	二,二二二	八月	一,〇〇〇
	九月	二,二二二	九月	一,〇〇〇
十月	二,二二二	十月	一,〇〇〇	
十一月	二,二二二	十一月	一,〇〇〇	
十二月	二,二二二	十二月	一,〇〇〇	

(註) 一各欄共右ハ重量左ハ金額ヲ示ス
 二重量ハ貫金額ハ圓ヲ單位トシ以下四捨五入トス
 三△符ヲ付セルハ減其他ハ増加ヲ示ス

増減	木		鱈		鱈		鱈	
	比較	數量金額	比較	數量金額	比較	數量金額	比較	數量金額
四一 五八	本年	四二	本年	二二	本年	一九	本年	二一
七四 五五	前年	八〇	前年	四三	前年	一八	前年	二一
二一 三二	増減	三八	増減	二一	増減	〇	増減	一
四二	本年	一〇	本年	一〇	本年	一〇	本年	一〇
五八	前年	三〇	前年	一〇	前年	一〇	前年	一〇
一四 二一	増減	二〇	増減	〇	増減	〇	増減	〇
三二	本年	一〇	本年	一〇	本年	一〇	本年	一〇
四一	前年	三〇	前年	一〇	前年	一〇	前年	一〇
五八	増減	二〇	増減	〇	増減	〇	増減	〇

第三表 大正十五年主要漁業組合漁獲高

組合名	大正十五年主要漁業組合漁獲高														
	甘鯛	めだい	れんこ	計	鱈	鱈	鱈	鯖	真鱈	小鱈	計	鮪	鱈	梔木	
福島	三、二二八	一四、一七〇	三、二二八	一、〇二二	六、一九〇	三、五九二	六、五四六	三、三三三	三、九四四	六、四八二	四、五八六	一、〇三二	一、五五五	九七	
金谷															
南外	二、四二一	三、二二一	二、七〇六	二、九四七	二、四二〇	二、三三三	七、四	九、五四七	三、二九六	二、一〇二	七、三三	二、三、四一八	三、三、三、三	三、三、三、三	
南榮	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	
編目	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	一、〇二七	
美堂	五、九七四	九、二〇八	六、〇五三	八、二六一	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	
油津	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	三、七〇一	
折生	六、四六七	六、四六七	六、四六七	六、四六七	六、四六七	六、四六七	六、四六七	六、四六七	六、四六七	六、四六七	六、四六七	六、四六七	六、四六七	六、四六七	
川南	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	三、二二一	
細島	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	
門川	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	
土々呂	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	
方財島	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	
島野浦	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	
市振	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	一、一五二	
計	二、四、九、六、三	二、二、八、五、五	一、八、一、六、〇	五、七、一、〇、〇	一、一、七、七、五	三、四、一、四、〇	一、七、五、五	八、四、七、八	三、七、三、二	一、九、二、三	一、〇、八、〇、三、三、八、六、八	一、〇、二、〇、一、四、八、五、三、四、八、一、五、七、六	一、九、四、四、〇	一、三、三、五、四	三、九、四、九

註 (一)各欄共有ハ重量左ハ金額ヲ示ス
(二)重量ハ貫金額ハ圓ヲ單位トシ以下四捨五入トス

獲高

品名	獲高
鮭	一、〇六一
樅木	九、七
鱈	二、八
飛魚	四、二六
鱈	二、五二
鰯	六、二〇
鱈	三、二七
いか	二、二六
其他ノ魚	二、五七
天草	一、五九
計	六四、〇六七

昭和四年三月十五日印刷
昭和四年三月二十日發行

宮崎縣水産試驗場

宮崎市宮山町一四番地

印刷者 柴原重吉

宮崎市宮山町一四番地

印刷所 柴原印刷所

14.2
1274

終